

国連世界人口推計2004年版の概要

佐藤龍三郎・石川 晃

国際連合経済社会局人口部 (Population Division, Department of Economic and Social Affairs, United Nations Secretariat : 以下, 国連人口部) は2005年2月24日, 「世界人口推計2004年版」(World Population Prospects: The 2004 Revision) を発表した¹⁾。前回(2002年版)から2年ぶりに発表された今回の世界人口推計は1950年以来通算19回目にあたり²⁾, 1950年から2050年までの100年間について国別・男女別・年齢別人口を推計するとともに, 推計に関連する仮定値として合計特殊出生率, 平均寿命など主要な人口学的指標の数値を提供している。以下, 本報告では今回の国連推計(2004年版)と最近の国連推計を比較した上で, 今回の国連推計に示された①人口総数と人口増加, ②出生率, ③死亡率(寿命), ④国際人口移動ならびに⑤年齢別人口の動向について概説する。また日本の将来人口について今回の国連推計と国立社会保障・人口問題研究所の2002年推計を比較する³⁾。

なお以下の国連推計結果についての記述における共通事項として, A年の人口とはA年年央(7月1日)の人口を指し, B年からC年までの期間とはB年年央からC年年央までの期間を指す。また「国」は領域や属領のこともある。すべての国は先進地域(more developed regions)と発展途上地域(less developed regions)に分類される。

I. 今回の国連推計と最近の国連推計の比較

1. 今回の国連推計の方法

2050年までの世界各国の人口を推計するには, 出生, 死亡, 国際人口移動の3つの要素について仮定を設ける必要がある。今回の国連推計(2004年版)では高位推計, 中位推計, 低位推計の3通りの推計に加え, 仮に出生率が一定の場合(出生率一定推計), 仮に死亡率が一定の場合(死亡率一定推計), 仮に国際人口移動がない場合(移動率ゼロ推計)を合わせて, 全部で6通りの推計がなされた。いずれの場合も将来人口推計の基準となる人

1) 本報告は, 国連人口部(Hania Zlotnik 部長)の許諾を得て, 世界人口推計2004年版のデータに基づき図表を作成するとともに解説を加えたものである。データ利用にあたり協力いただいた同部の大崎敬子氏ならびにThomas Buettner氏に深謝する。なお, 世界人口推計2004年版の要点(Highlights)および国別データは国連人口部のインターネット・ホームページ(<http://www.un.org/esa/population/unpop.htm>)に掲載されている。また, このうち主要な指標については本研究所が刊行した国立社会保障・人口問題研究所(2005)に収録している。

2) 過去の国連の人口推計に関して『人口問題研究』では以下の号に報告が掲載されている。

1968年推計(第114号, 1970年), 1973年推計(第138号, 1976年), 1980年推計(第161号, 1982年), 1982年推計(第170号, 1984年), 1984年推計(第180号, 1986年), 1988年推計(第187号, 1988年), 1990年推計(第46巻2号, 1990年), 1994年推計(第51巻2号, 1995年)。

3) 国立社会保障・人口問題研究所が2002年1月に公表した日本の将来人口に関する最新の推計結果について, 詳しくは国立社会保障・人口問題研究所(2002)を参照されたい。

口は2005年7月1日現在人口である。2005年に関する実際の人口データは得られないので利用可能な直近の人口データから推計されたが、その際各国のセンサス結果や人口登録データが用いられ、特に今回の国連推計は各国で2000年前後に実施されたセンサスの結果を反映したものとなっている。

(1) 中位推計の仮定

1) 出生率に関する仮定

すべての国の出生率が将来において合計特殊出生率1.85という水準に収束すると仮定された。しかし推計期間内すなわち2050年までにすべての国の出生率がこの水準に到達するわけではない。出生率推計の基本原則はすべての国について同じであるが、推計の手順はその国の2000～05年時点の合計特殊出生率が1.85を上回っているか下回っているかの違いによって若干異なっている。

現在の合計特殊出生率が1.85を上回る国の場合、出生率は、国連人口部が1950年から2000年にかけて出生率が低下したすべての国の過去の経験に基づいて作成した出生力低下モデルから導かれた経路を辿って低下すると仮定される。もしこのモデルに従ってある国の合計特殊出生率が2050年以前に1.85まで低下した場合は、2050年までの残りの期間の合計特殊出生率は1.85で一定となる。ただし最近の出生率の動向がモデルから乖離している国の場合、実際の動きを考慮して補正が加えられた。

一方、現在の合計特殊出生率が1.85を下回る国の場合、推計期間の最初の5ないし10年間出生率はその国の最近の傾向に従うものとし、以後合計特殊出生率が5年ごとに0.07ずつ直線的に増加すると仮定された。それゆえ現在出生率水準が非常に低い国の場合、2050年までに1.85に達しない場合もある。

2) 死亡率に関する仮定

i 通常の死亡率仮定

将来の死亡率は、国連人口部が作成した平均寿命の変化モデルを基に推計された。このモデルでは既に達成された平均寿命が高水準であればあるほど追加の増加は小さくなる。このような複数のモデルから、国ごとに最近の男女別平均寿命の傾向を基にいずれか一つのモデルが選択された。

ii HIV／エイズの影響

HIV／エイズ流行の影響を甚だしく被っている60か国について、流行の趨勢を明示的にモデル化し HIV 感染率を年次別に予測することによって、その影響を推計に含めた。今回推計では、高活性の抗レトロウイルス療法（ART）で治療を受けた人は延命するという仮定を初めて取り入れており、各国の HIV 陽性人口のうち治療を受けている割合は、世界保健機関（WHO）の推計（2004年末現在）に一致している。治療の普及率は現在の水準を基に2015年までに40%から85%の間のいずれかの水準に達すると推計された。ARTを受けている人の1年間の生存確率は平均して少なくとも80%にまで増加すると仮定される。この仮定の下で、治療開始からの平均生存年数は3.1年（中位数は4.5年）である。対照的に治療を受けない人の発病後の平均生存年数は1年と仮定された。

3) 国際人口移動に関する仮定

国際人口移動の将来動向は、過去の移動の推計値と将来の移動に関する各国の政策的姿勢を基に推計された。

(2) その他の5通りの推計の仮定

高位推計、中位推計、低位推計および出生率一定推計は出生率の仮定のみ異なっている。高位推計では推計期間の大部分において合計特殊出生率が中位推計より0.5高く設定され（最終的な合計特殊出生率が中位推計で1.85となる国の場合、高位推計では2.35となる）、低位推計では合計特殊出生率が中位推計より0.5低く設定されている。出生率一定推計では、2000～05年の出生率水準がその後も不変と仮定される。

死亡率一定推計と移動率ゼロ推計の出生率の仮定値は中位推計に等しく設定されている。また死亡率一定推計における国際人口移動の仮定値は中位推計に等しく、それゆえ死亡率一定推計によって、中位推計と比較して、死亡率の変化が他の人口学的変数に及ぼす影響について推測することができる。同様に移動率ゼロ推計は、国際人口移動に関する仮定のみ中位推計と異なっており、国際人口移動の影響を知る上で参考になる。

(3) 今回推計における方法上の変更点

1) 中位推計では、2000～05年の合計特殊出生率が1.85を下回っている国の場合、現在の水準が一定期間続いた後、合計特殊出生率が5年ごとに0.07ずつ直線的に増加すると仮定された。これらの国々の中には2050年までに合計特殊出生率が1.85に達しない国もある。

2) 寿命伸長の歴史的経験の多様さを把握するために、死亡率変化に関するモデルが追加された。すなわち前回推計では死亡率改善に関して「おそい」(slow)、「中等度」(medium)、「速い」(fast)の3モデルが用いられたが、今回「非常におそい」(very slow)と「非常に速い」(very fast)の2モデルが開発され追加された。

3) HIV／エイズの死亡率への影響が、成人のHIV感染率が2003年において1%以上であったすべての国について明示的にモデル化された。

4) 抗レトロウイルス療法を用いた治療が明示的にHIV／エイズの将来推計に取り入れられた。またHIVの母子感染率は、治療の利用可能性の拡大に見合う一定の率で低下すると推計された。

2. 最近の国連推計との比較

(1) 人口総数の比較

国連推計による世界人口はこれまでどのように改訂されてきたであろうか。1990年推計から今回の2004年推計まで2年ごとに実施された最近8回の推計結果（中位推計）を表1と図1に示した。なおここでは中位推計のみ取り上げることにする。

これらを比較すると、まず1990年推計から1998年推計までは将来人口がより少なく改訂される傾向があり、各回推計による2025年の世界人口は85.0億、84.7億、82.9億、80.4億、78.2億と（世界人口の大部分を占める発展途上地域の2025年の人口も同様に71.5億、70.7億、70.6億、68.2億、66.1億と）下方修正が続いた。2050年の推計人口を1994年推計以降についてみても、世界人口（98.3億、93.7億、89.1億）、発展途上地域人口（86.3億、82.0億、77.5億）ともに連続して下方へ修正された。

その後2000年推計では一転して上昇修正され（2050年の世界人口は89.1億から93.2億へ4.1億増加）、2002年推計では逆に下方修正された（2050年の世界人口は93.2億から89.2億へ4.0億減少）。2004年推計では再度上方修正されたが（2050年の世界人口は89.2億から90.8億へ1.6億増加）、その増加幅は2000年改訂の際の増加幅より小さく、2004年推計人口は2000年推計人口と2002年推計人口の間に位置する形になる（発展途上地域の2050年人口も77.5億、81.4億、77.0億、78.4億と同様の变化を示している）。

なお先進地域の将来推計人口は1990年推計と1992年推計では2025年の人口が約14億とされるなどその後の推計に比べやや多めであるが、1994年推計以降は2025年、2050年の人口ともに約12億でほとんど変わらない。

図1 推計実施年別にみた世界人口（中位推計）の比較

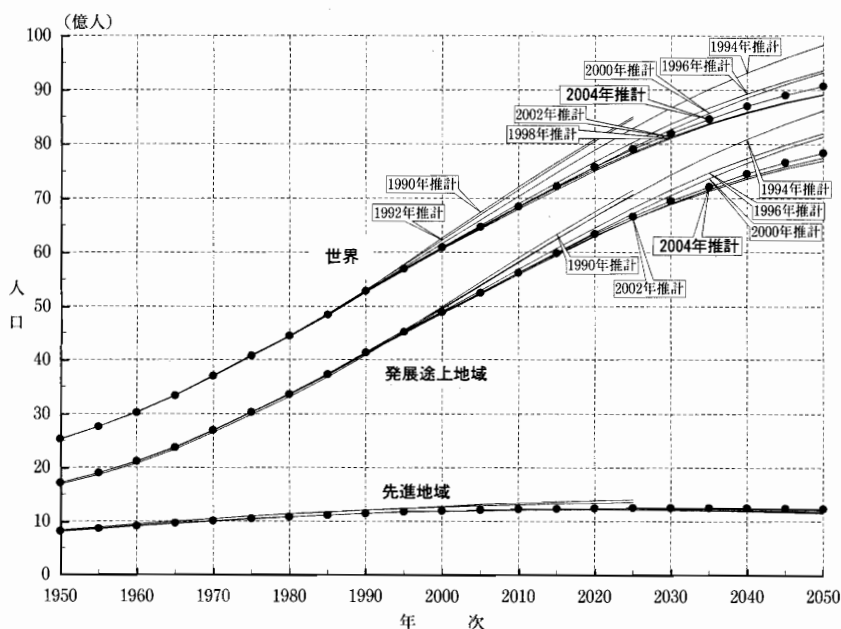


表1 推計実施年別にみた世界人口（中位推計）の比較

(1,000人)

年次	1990年推計	1992年推計	1994年推計	1996年推計	1998年推計	2000年推計	2002年推計	2004年推計
世界								
1950	2,516,443	2,516,190	2,519,748	2,523,878	2,521,495	2,519,495	2,518,629	2,519,470
1955	2,752,107	2,751,681	2,754,196	2,758,904	2,755,321	2,754,717	2,755,823	2,757,399
1960	3,019,653	3,018,974	3,021,485	3,026,541	3,021,908	3,020,177	3,021,475	3,023,812
1965	3,336,319	3,335,579	3,337,821	3,342,617	3,337,037	3,333,716	3,334,874	3,337,974
1970	3,697,849	3,697,007	3,697,141	3,701,909	3,696,148	3,690,925	3,692,492	3,696,588
1975	4,079,023	4,077,914	4,076,985	4,080,992	4,074,710	4,065,508	4,068,109	4,073,740
1980	4,448,037	4,446,859	4,444,352	4,447,374	4,440,402	4,429,747	4,434,682	4,442,295
1985	4,851,433	4,854,547	4,846,334	4,847,326	4,837,358	4,824,509	4,830,979	4,843,947
1990	5,292,195	5,295,300	5,284,832	5,282,306	5,266,442	5,254,820	5,263,593	5,279,519
1995	5,770,286	5,759,277	5,716,426	5,687,113	5,666,360	5,661,862	5,674,380	5,692,353
2000	6,260,800	6,228,254	6,158,051	6,091,351	6,055,049	6,056,715	6,070,581	6,085,572
2005	6,739,230	6,688,127	6,594,403	6,490,722	6,429,397	6,441,001	6,453,628	6,464,750
2010	7,204,343	7,149,506	7,032,294	6,890,775	6,794,773	6,825,736	6,830,283	6,842,923
2015	7,659,858	7,608,999	7,468,925	7,285,881	7,154,366	7,207,361	7,197,247	7,219,431
2020	8,091,628	8,049,940	7,887,856	7,671,924	7,501,521	7,579,278	7,540,237	7,577,889
2025	8,504,223	8,472,445	8,294,341	8,039,130	7,823,703	7,936,741	7,851,455	7,905,239
2030			8,670,614	8,371,602	8,111,980	8,270,064	8,130,149	8,199,104
2035			9,013,877	8,669,468	8,362,928	8,575,855	8,378,184	8,463,265
2040			9,318,226	8,929,691	8,576,540	8,854,658	8,593,591	8,701,319
2045			9,587,317	9,159,284	8,757,706	9,104,771	8,774,394	8,907,417
2050			9,833,208	9,366,724	8,909,095	9,322,251	8,918,724	9,075,903
先進地域 ¹⁾								
1950	832,425	832,425	808,538	812,687	812,687	813,574	812,771	812,772
1955	887,423	887,423	858,683	863,439	863,439	864,020	863,220	863,220
1960	944,851	944,828	910,659	915,841	915,841	916,095	915,298	915,300
1965	1,002,920	1,002,901	962,211	967,537	967,537	967,295	966,498	966,633
1970	1,048,890	1,048,906	1,002,607	1,007,667	1,007,667	1,008,273	1,007,479	1,007,673
1975	1,095,170	1,095,146	1,044,186	1,048,380	1,048,380	1,048,265	1,047,474	1,047,196
1980	1,136,500	1,136,483	1,079,945	1,082,859	1,082,859	1,082,755	1,082,989	1,082,539
1985	1,174,365	1,172,970	1,110,625	1,114,312	1,114,217	1,114,895	1,115,191	1,114,785
1990	1,206,556	1,211,138	1,143,358	1,148,119	1,147,980	1,148,365	1,148,917	1,148,572
1995	1,236,045	1,244,176	1,166,598	1,171,384	1,171,763	1,173,955	1,173,991	1,173,983
2000	1,264,078	1,277,963	1,185,536	1,186,990	1,187,980	1,191,429	1,193,872	1,193,354
2005	1,288,606	1,310,427	1,200,255	1,197,344	1,199,746	1,201,109	1,208,817	1,211,265
2010	1,309,555	1,340,532	1,212,865	1,206,375	1,208,431	1,208,405	1,220,855	1,225,678
2015	1,327,397	1,366,486	1,223,733	1,214,018	1,214,394	1,213,857	1,230,499	1,236,561
2020	1,342,048	1,387,174	1,231,987	1,218,526	1,216,567	1,217,737	1,237,398	1,244,413
2025	1,353,936	1,403,275	1,238,406	1,220,250	1,214,890	1,218,834	1,241,377	1,248,954
2030			1,236,179	1,212,147	1,209,507	1,216,513	1,242,278	1,250,658
2035			1,230,988	1,201,271	1,200,378	1,210,849	1,240,221	1,249,903
2040			1,223,660	1,188,560	1,187,704	1,202,423	1,235,384	1,247,071
2045			1,215,399	1,174,941	1,172,316	1,192,271	1,228,323	1,242,398
2050			1,207,504	1,161,741	1,155,403	1,181,108	1,219,662	1,236,200
発展途上地域 ²⁾								
1950	1,684,018	1,683,765	1,711,210	1,711,191	1,708,808	1,705,921	1,705,858	1,706,698
1955	1,864,684	1,864,258	1,895,513	1,895,464	1,891,882	1,890,697	1,892,603	1,894,179
1960	2,074,802	2,074,146	2,110,827	2,110,700	2,106,067	2,104,082	2,106,177	2,108,512
1965	2,333,400	2,332,678	2,375,610	2,375,080	2,369,500	2,366,421	2,368,376	2,371,340
1970	2,648,959	2,648,100	2,694,535	2,694,242	2,688,481	2,682,652	2,685,013	2,688,915
1975	2,983,853	2,982,768	3,032,799	3,032,612	3,026,330	3,017,243	3,020,634	3,026,543
1980	3,311,537	3,310,376	3,364,407	3,364,515	3,357,542	3,346,992	3,351,693	3,359,755
1985	3,677,068	3,681,577	3,735,709	3,733,014	3,723,140	3,709,614	3,715,788	3,729,162
1990	4,085,638	4,084,162	4,141,474	4,134,187	4,118,462	4,106,455	4,114,676	4,130,947
1995	4,534,241	4,515,101	4,549,828	4,515,729	4,494,597	4,487,907	4,500,388	4,518,369
2000	4,996,722	4,950,290	4,972,515	4,904,360	4,867,069	4,865,286	4,876,709	4,892,218
2005	5,450,625	5,377,701	5,394,148	5,293,378	5,229,651	5,239,892	5,244,811	5,253,484
2010	5,894,787	5,808,974	5,819,430	5,684,400	5,586,343	5,617,331	5,609,428	5,617,246
2015	6,332,461	6,242,514	6,245,191	6,071,863	5,939,972	5,993,504	5,966,748	5,982,871
2020	6,749,581	6,662,766	6,655,869	6,453,398	6,284,954	6,361,541	6,302,839	6,333,475
2025	7,150,287	7,069,171	7,055,935	6,818,880	6,608,813	6,717,907	6,610,079	6,656,285
2030			7,434,435	7,159,455	6,902,473	7,053,551	6,887,870	6,948,446
2035			7,782,889	7,468,197	7,162,550	7,365,005	7,137,963	7,213,362
2040			8,094,566	7,741,121	7,388,836	7,652,235	7,358,208	7,454,248
2045			8,371,919	7,984,353	7,585,390	7,912,500	7,546,071	7,665,019
2050			8,625,703	8,204,983	7,753,693	8,141,143	7,699,061	7,839,702

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(2) 出生率と死亡率の仮定値の比較

上記の人口の変化は出生率と死亡率に関する仮定値の変化を反映している。まず出生率に関する仮定であるが、1996年推計から2004年推計まで5回の推計における合計特殊出生率の年次別の仮定値を表2と図2に示した。世界人口について仮定された合計特殊出生率(中位推計)の変化は、1996年推計から1998年推計にかけて低下したが、2000年推計では大きく上方に推移し、2002年推計でまた低下し、2004年推計では2002年推計とほぼ同じ水準となっている。世界人口の大部分を占める発展途上地域の合計特殊出生率の仮定値も同様の動きを示しており、この動きは人口総数の動きと符合している。先進地域の合計特殊出生率の仮定値はやや異なる動きをしているが、世界人口に及ぼす影響は比較的小さい。

表2 推計実施年別にみた合計特殊出生率の仮定値

年次	1996年推計			1998年推計			2000年推計			2002年推計			2004年推計		
	低位	中位	高位	低位	中位	高位	低位	中位	高位	低位	中位	高位	低位	中位	高位
世界															
1990～95	2.96	2.96	2.96	2.93	2.93	2.93									
1995～00	2.66	2.79	2.93	2.59	2.71	2.84	2.82	2.82	2.82	2.83	2.83	2.83			
2000～05	2.43	2.66	2.91	2.31	2.57	2.83	2.49	2.68	2.87	2.48	2.69	2.90	2.65	2.65	2.65
2005～10	2.22	2.55	2.87	2.09	2.44	2.78	2.26	2.59	2.87	2.22	2.59	2.95	2.30	2.55	2.80
2010～15	2.04	2.45	2.83	1.94	2.35	2.75	2.11	2.50	2.87	2.05	2.50	2.94	2.07	2.47	2.86
2015～20	1.94	2.40	2.81	1.86	2.29	2.73	2.01	2.44	2.86	1.95	2.41	2.87	1.89	2.38	2.88
2020～25	1.85	2.35	2.78	1.78	2.23	2.69	1.96	2.39	2.83	1.87	2.33	2.79	1.81	2.31	2.80
2025～30	1.76	2.27	2.72	1.71	2.17	2.63	1.90	2.34	2.78	1.78	2.25	2.72	1.74	2.23	2.73
2030～35	1.68	2.20	2.67	1.64	2.10	2.57	1.83	2.28	2.73	1.71	2.18	2.65	1.68	2.17	2.66
2035～40	1.61	2.13	2.60	1.58	2.05	2.52	1.78	2.24	2.69	1.64	2.12	2.59	1.64	2.13	2.62
2040～45	1.56	2.09	2.56	1.56	2.03	2.50	1.73	2.20	2.66	1.59	2.06	2.54	1.60	2.09	2.57
2045～50	1.56	2.09	2.57	1.56	2.03	2.51	1.68	2.15	2.62	1.54	2.02	2.50	1.56	2.05	2.53
先進地域 ¹⁾															
1990～95	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68									
1995～00	1.52	1.59	1.69	1.51	1.57	1.66	1.57	1.57	1.57	1.58	1.58	1.58			
2000～05	1.48	1.60	1.79	1.43	1.56	1.79	1.44	1.50	1.58	1.48	1.56	1.64	1.56	1.56	1.56
2005～10	1.44	1.67	1.89	1.42	1.59	1.90	1.37	1.50	1.66	1.40	1.57	1.73	1.34	1.59	1.84
2010～15	1.42	1.74	2.00	1.41	1.65	1.99	1.33	1.52	1.74	1.37	1.60	1.83	1.21	1.61	2.00
2015～20	1.40	1.80	2.11	1.40	1.71	2.07	1.36	1.58	1.82	1.36	1.64	1.91	1.14	1.64	2.14
2020～25	1.40	1.86	2.20	1.39	1.75	2.14	1.40	1.65	1.92	1.38	1.69	2.00	1.18	1.68	2.17
2025～30	1.40	1.91	2.27	1.39	1.78	2.18	1.44	1.73	2.04	1.40	1.75	2.12	1.22	1.72	2.21
2030～35	1.41	1.96	2.34	1.40	1.80	2.21	1.47	1.80	2.14	1.40	1.81	2.21	1.26	1.76	2.26
2035～40	1.41	2.00	2.39	1.40	1.81	2.22	1.50	1.86	2.23	1.40	1.84	2.28	1.30	1.80	2.29
2040～45	1.41	2.03	2.44	1.40	1.82	2.22	1.52	1.90	2.29	1.38	1.85	2.33	1.33	1.83	2.33
2045～50	1.41	2.06	2.47	1.41	1.82	2.22	1.52	1.92	2.33	1.35	1.85	2.35	1.34	1.84	2.34
発展途上地域 ²⁾															
1990～95	3.30	3.30	3.30	3.27	3.27	3.27									
1995～00	2.94	3.08	3.23	2.86	3.00	3.13	3.10	3.10	3.10	3.11	3.11	3.11			
2000～05	2.64	2.89	3.17	2.51	2.80	3.06	2.70	2.92	3.13	2.68	2.92	3.16	2.90	2.90	2.90
2005～10	2.37	2.73	3.07	2.22	2.61	2.97	2.43	2.79	3.10	2.37	2.78	3.17	2.50	2.75	3.00
2010～15	2.15	2.58	2.99	2.03	2.48	2.89	2.23	2.66	3.06	2.16	2.65	3.13	2.23	2.63	3.03
2015～20	2.03	2.50	2.93	1.93	2.39	2.84	2.11	2.56	3.01	2.04	2.53	3.01	2.02	2.52	3.02
2020～25	1.92	2.42	2.87	1.84	2.31	2.78	2.03	2.49	2.95	1.93	2.41	2.90	1.91	2.41	2.91
2025～30	1.81	2.32	2.79	1.75	2.22	2.70	1.95	2.41	2.88	1.83	2.31	2.79	1.82	2.31	2.81
2030～35	1.72	2.24	2.71	1.67	2.15	2.62	1.87	2.34	2.80	1.75	2.22	2.70	1.74	2.23	2.72
2035～40	1.63	2.15	2.63	1.60	2.08	2.56	1.81	2.28	2.75	1.67	2.14	2.63	1.68	2.17	2.66
2040～45	1.58	2.10	2.58	1.58	2.06	2.54	1.76	2.23	2.70	1.61	2.09	2.57	1.63	2.12	2.61
2045～50	1.58	2.10	2.58	1.58	2.06	2.54	1.70	2.17	2.65	1.56	2.04	2.52	1.59	2.07	2.56

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図2 推計実施年別にみた合計特殊出生率（中位推計）の仮定値

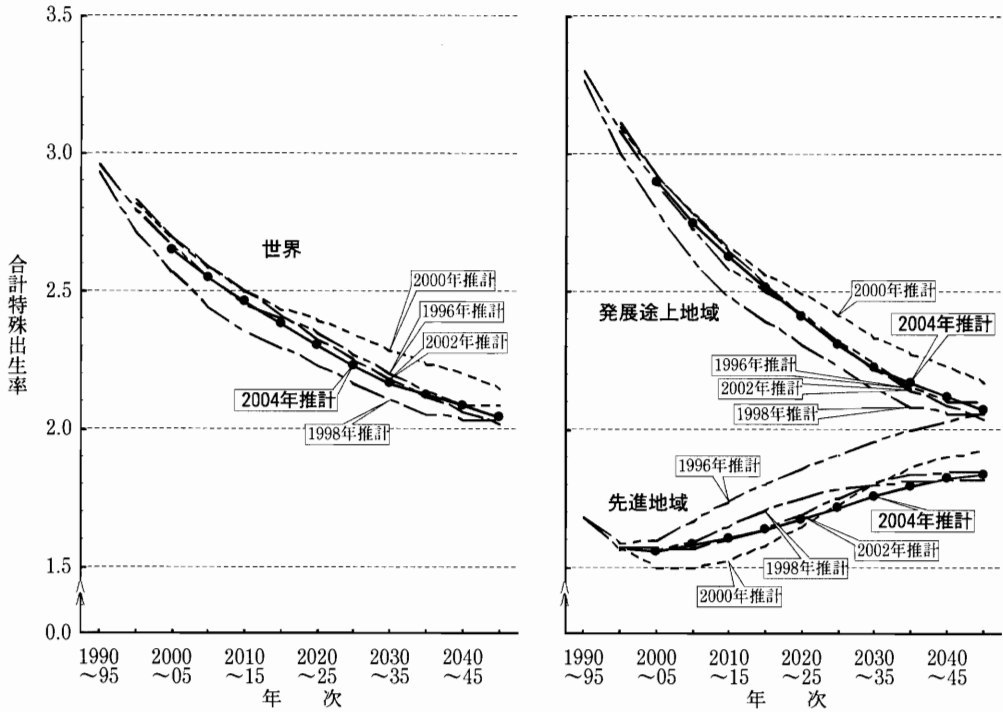
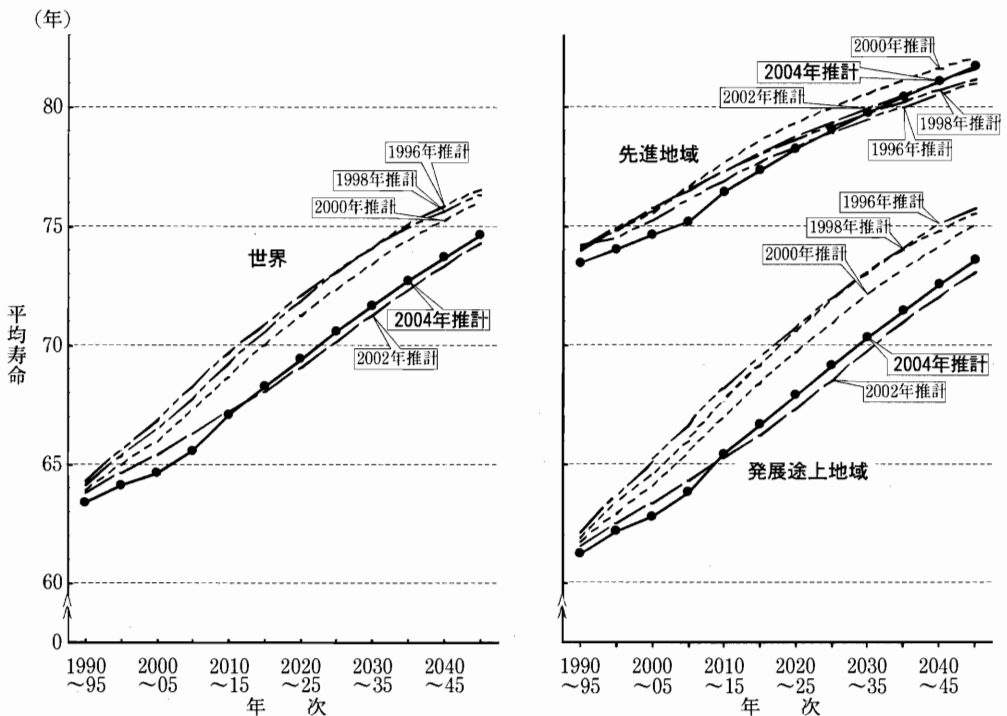


図3 推計実施年別にみた（男女計）平均寿命の仮定値



次に死亡率に関する
 仮定であるが、1996年
 推計から2004年推計ま
 で5回の推計における
 平均寿命（男女合計）
 の年次別の仮定値を表
 3と図3に示した。世
 界人口について2020年
 頃以後の将来の平均寿
 命をみると、1996年推
 計と1998年推計ではほ
 とんど変化がないが、
 2000年推計では仮定さ
 れた平均寿命の曲線が
 下方へ推移し、2002年
 推計ではさらに大きく
 下方へ低下している。
 2004年推計では2002年
 推計に比べ、2015年頃
 までの近未来では平均
 寿命が短縮するが、そ
 れ以後、長期的には平
 均寿命はやや改善する
 と仮定されている。発
 展途上地域の動きも同
 様である。先進地域の
 動きはこれと異なり、
 将来の平均寿命は2000
 年推計で上昇、2002年
 推計で低下、2004年推
 計の仮定値は2002年推
 計とほぼ同水準という
 動きを示している。

表3 推計実施年別にみた（男女計）平均寿命の仮定値（年）

年次	1996年推計	1998年推計	2000年推計	2002年推計	2004年推計
世界					
1950～55	46.5	46.5	46.5	46.5	46.3
1955～60	49.6	49.6	49.6	49.6	49.5
1960～65	52.3	52.4	52.4	52.4	52.3
1965～70	56.0	56.0	56.1	56.1	56.2
1970～75	57.9	58.0	58.0	58.0	58.2
1975～80	59.7	59.8	59.8	59.8	59.9
1980～85	61.3	61.4	61.4	61.3	61.3
1985～90	63.1	63.1	63.0	62.9	62.7
1990～95	64.3	64.1	63.9	63.8	63.4
1995～00	65.6	65.4	65.0	64.6	64.1
2000～05	66.9	66.5	66.0	65.4	64.7
2005～10	68.3	67.8	67.3	66.3	65.6
2010～15	69.7	69.3	68.7	67.2	67.1
2015～20	70.9	70.6	70.0	68.1	68.3
2020～25	72.1	71.9	71.3	69.1	69.5
2025～30	73.1	73.1	72.4	70.2	70.6
2030～35	74.1	74.1	73.4	71.3	71.7
2035～40	75.1	75.0	74.4	72.4	72.7
2040～45	75.9	75.7	75.3	73.4	73.7
2045～50	76.6	76.3	76.0	74.3	74.7
先進地域 ¹⁾					
1950～55	66.5	66.6	66.2	66.1	66.3
1955～60	68.5	68.5	68.4	68.3	68.4
1960～65	69.8	69.8	69.7	69.7	69.7
1965～70	70.5	70.5	70.6	70.6	70.7
1970～75	71.2	71.2	71.4	71.4	71.3
1975～80	72.2	72.1	72.3	72.3	72.2
1980～85	73.0	73.0	73.1	72.9	72.8
1985～90	74.0	74.1	74.1	73.9	73.8
1990～95	74.2	74.1	74.1	74.0	73.5
1995～00	74.5	74.9	74.9	74.8	74.0
2000～05	75.3	75.7	75.6	75.8	74.6
2005～10	76.1	76.5	76.7	76.6	75.2
2010～15	76.9	77.3	77.7	77.3	76.4
2015～20	77.7	78.0	78.6	78.0	77.4
2020～25	78.3	78.6	79.3	78.7	78.3
2025～30	78.9	79.2	80.0	79.4	79.1
2030～35	79.5	79.7	80.6	79.9	79.8
2035～40	80.0	80.2	81.1	80.5	80.4
2040～45	80.5	80.7	81.6	81.1	81.1
2045～50	81.0	81.2	82.1	81.6	81.7
発展途上地域 ²⁾					
1950～55	40.9	40.9	41.0	41.0	40.9
1955～60	44.4	44.3	44.4	44.4	44.2
1960～65	47.7	47.7	47.7	47.7	47.6
1965～70	52.2	52.2	52.3	52.3	52.4
1970～75	54.7	54.7	54.7	54.7	54.9
1975～80	56.7	56.8	56.8	56.8	57.0
1980～85	58.6	58.6	58.6	58.5	58.6
1985～90	60.6	60.5	60.4	60.3	60.2
1990～95	62.1	61.9	61.7	61.5	61.2
1995～00	63.6	63.3	62.9	62.5	62.2
2000～05	65.1	64.5	64.1	63.4	62.8
2005～10	66.7	66.0	65.5	64.3	63.8
2010～15	68.2	67.6	67.0	65.3	65.4
2015～20	69.5	69.2	68.4	66.2	66.7
2020～25	70.8	70.6	69.7	67.3	67.9
2025～30	72.0	71.9	70.9	68.5	69.2
2030～35	73.1	73.0	72.1	69.8	70.3
2035～40	74.1	74.0	73.2	71.0	71.5
2040～45	75.1	74.8	74.2	72.1	72.6
2045～50	75.8	75.5	75.0	73.1	73.6

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(3) 改訂の背景

1) 2000年推計における改訂

この改訂では、それまで下方修正が続いていた将来の世界人口が徐々に上方修正されたが、国連によればその主な理由として将来の出生率仮定が変わったことなどが挙げられている。すなわち1998年推計ではすべての高出生率国の合計特殊出生率は2045～50年頃までに人口置換水準（2.1）に低下するとされていたが、2000年推計ではその多くの国で合計特殊出生率は2045～50年頃になっても人口置換水準に達しないと変更された。その際、サハラ以南のアフリカでいまだ持続的な出生力低下の兆しが見られない国々があること、バングラデシュ、インド、ナイジェリアなど人口の多いいくつかの国で出生率低下が前回想定したほど大きくなかったことなどが考慮された。その一方、前回よりも多くの国でHIV／エイズの影響が明示的に組み入れられた⁴⁾。

2) 2002年推計における改訂

この改訂では2000年推計に比し将来の世界人口が下方修正されたが、その要因の一つは図2に示したように発展途上地域の将来の出生率曲線が下方に変更されたことで、国連は大多数の発展途上国の合計特殊出生率が2050年以前に2.1を下回ると推計した。またHIV／エイズの影響がより深刻に受けとめられた⁵⁾。

3) 2004年推計における改訂

この改訂では前回（2002年推計）に比し将来の世界人口がいくぶん上方修正されたが、その理由の一つとしてエイズ患者に対する抗レトロウイルス療法（ART）の普及による死亡率低下を見込んだことがある。また表2にみるように、中位推計における発展途上地域の2030年以降の合計特殊出生率が前回よりやや高く設定されている⁶⁾。

II. 今回の国連推計（2004年版）の概要

1. 人口総数と人口増加

(1) 世界人口の推移

今回の国連推計（2004年版）による世界および先進地域・発展途上地域別の人口総数は表4と図4に示した。

4) 詳しくは United Nations (2001a, 2001b) 参照。

5) 詳しくは United Nations (2003, 2004) 参照。

6) 前記インターネット・ホームページに2004年推計の要点 (Highlights) が記載されているが、詳しくは3巻本として国連から近く刊行予定の United Nations (forthcoming) 参照。

1950年に25億1900万であった世界人口は2000年に60億8600万、2005年には64億6500万に達し、以後中位推計によれば2025年に79億500万、2050年に90億7600万に達する。一方、低位推計によれば2025年に74億7100万に達するものの、2040年頃を境に減少に転じ2050年の世界人口は76億8000万にとどまる。他方、高位推計によれば2025年に83億3700万に達した世界人口は2045年までに100億を超え、2050年には106億4600万に達する。また現在の出生率が一定の場合、世界人口は2025年には83億2200万に達し、2040年までに100億を超え、2050年には116億5800万に達する。すなわち、2050年までに人口増加が止まり減少に転じるのは低位推計のみであり、中位推計では人口増加率は減速しゼロに近づくものの2050年時点でもなお世界人口は増加が続く。高位推計と出生率一定推計では、21世紀半ばにおいても幾何級数的な人口増加が続くことになる。

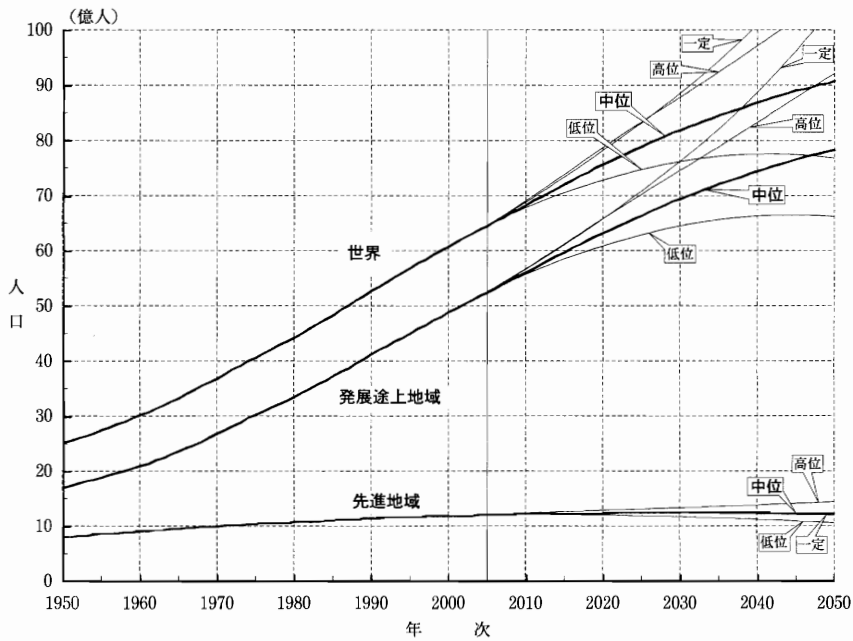
先進地域と発展途上地域に分けてみると、1950年に8億1300万であった先進地域の人口は20世紀後半の半世紀の間に約5割増えて2000年に11億9300万、2005年には12億1100万に達するとみられる。しかし今後、21世紀前半における人口増加はほとんどゼロに近いとみられる。すなわち高位推計によっても2050年の人口は14億4000万にとどまり、中位推計によれば2050

表4 各仮定値による人口総数：2004年推計
(1,000人)

年次	低位	中位	高位	出生率一定
世界				
1950		2,519,470		
1955		2,757,399		
1960		3,023,812		
1965		3,337,974		
1970		3,696,588		
1975		4,073,740		
1980		4,442,295		
1985		4,843,947		
1990		5,279,519		
1995		5,692,353		
2000		6,085,572		
2005		6,464,750		
2010	6,781,431	6,842,923	6,903,276	6,881,529
2015	7,054,584	7,219,431	7,382,434	7,337,041
2020	7,280,148	7,577,889	7,873,172	7,819,287
2025	7,471,426	7,905,239	8,336,867	8,321,838
2030	7,618,083	8,199,104	8,784,155	8,855,299
2035	7,712,423	8,463,265	9,237,907	9,439,779
2040	7,753,745	8,701,319	9,709,446	10,092,723
2045	7,741,810	8,907,417	10,184,739	10,827,058
2050	7,679,714	9,075,903	10,646,311	11,657,999
先進地域 ¹⁾				
1950		812,772		
1955		863,220		
1960		915,300		
1965		966,633		
1970		1,007,673		
1975		1,047,196		
1980		1,082,539		
1985		1,114,785		
1990		1,148,572		
1995		1,173,983		
2000		1,193,354		
2005		1,211,265		
2010	1,215,277	1,225,678	1,236,012	1,224,603
2015	1,210,085	1,236,561	1,262,834	1,233,679
2020	1,198,800	1,244,413	1,289,550	1,238,658
2025	1,185,003	1,248,954	1,312,272	1,239,736
2030	1,168,279	1,250,658	1,333,175	1,237,269
2035	1,147,542	1,249,903	1,355,347	1,231,312
2040	1,121,890	1,247,071	1,381,006	1,221,875
2045	1,091,378	1,242,398	1,409,776	1,209,441
2050	1,057,485	1,236,200	1,439,850	1,195,081
発展途上地域 ²⁾				
1950		1,706,698		
1955		1,894,179		
1960		2,108,512		
1965		2,371,340		
1970		2,688,915		
1975		3,026,543		
1980		3,359,755		
1985		3,729,162		
1990		4,130,947		
1995		4,518,369		
2000		4,892,218		
2005		5,253,484		
2010	5,566,154	5,617,246	5,667,264	5,656,926
2015	5,844,499	5,982,871	6,119,600	6,103,362
2020	6,081,348	6,333,475	6,583,622	6,580,629
2025	6,286,423	6,656,285	7,024,595	7,082,103
2030	6,449,804	6,948,446	7,450,980	7,618,030
2035	6,564,881	7,213,362	7,882,561	8,208,467
2040	6,631,856	7,454,248	8,328,440	8,870,848
2045	6,650,432	7,665,019	8,774,963	9,617,618
2050	6,622,229	7,839,702	9,206,461	10,462,918

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図4 各仮定値による人口総数：2004年推計



年の人口は12億3600万と現在より2500万多いだけである。低位推計によれば2050年には10億5800万にまで人口が減り、現在の出生率が一定の場合には先進地域の2050年の人口は11億9500万と現在より1600万少なくなる。

これに対し、発展途上地域の人口は1950年には17億700万であったが、2000年には48億9200万に達しており20世紀後半に約3倍増したことになる。2005年現在52億5300万に達し、中位推計によれば今後も増加が続き2050年には78億3400万と現在より26億多い人口を抱えることになる。一方、低位推計によれば2045年頃を境に減少に転じ2050年の人口は66億2200万にとどまる。しかし高位推計によれば幾何級数的な人口増加が続き2050年には92億600万に達する。さらに現在の出生率が一定の場合には発展途上地域の人口は2050年までに100億を超えることになる。図4で明らかなように、21世紀前半における世界人口と発展途上地域人口の趨勢は似通っているが、それは世界人口の大部分が発展途上地域人口によって占められることによる。すなわち今後の世界人口総数の動向は発展途上地域の人口の動向によって決まるといえる。

表5 主要地域別人口増加率：2004年推計（中位推計）

（年平均：％）

地域	1950 ～55	1955 ～60	1960 ～65	1965 ～70	1970 ～75	1975 ～80	1980 ～85	1985 ～90	1990 ～95	1995 ～00
世 界	1.80	1.84	1.98	2.04	1.94	1.73	1.73	1.72	1.51	1.34
先進地域 ¹⁾	1.20	1.17	1.09	0.83	0.77	0.66	0.59	0.60	0.44	0.33
発展途上地域 ²⁾	2.08	2.14	2.35	2.51	2.37	2.09	2.09	2.05	1.79	1.59
アフリカ	2.21	2.36	2.49	2.62	2.69	2.82	2.89	2.78	2.56	2.34
東部アフリカ	2.29	2.48	2.69	2.85	2.90	2.96	3.01	3.06	2.54	2.61
中部アフリカ	1.86	2.15	2.30	2.60	2.67	2.91	2.93	2.95	3.21	2.30
北部アフリカ	2.30	2.39	2.43	2.51	2.53	2.67	2.79	2.33	2.03	1.81
南部アフリカ	2.30	2.41	2.65	2.57	2.65	2.49	2.56	2.23	2.51	1.71
西部アフリカ	2.17	2.30	2.36	2.49	2.60	2.84	2.90	2.90	2.77	2.62
アジア	1.96	1.97	2.20	2.42	2.25	1.87	1.87	1.85	1.59	1.38
東部アジア	1.80	1.52	1.97	2.42	2.11	1.43	1.31	1.41	1.01	0.82
南部・中央アジア	2.05	2.31	2.34	2.35	2.32	2.20	2.29	2.22	2.04	1.80
南東部アジア	2.08	2.40	2.46	2.52	2.34	2.16	2.14	1.98	1.79	1.51
西部アジア	2.70	2.75	2.74	2.64	2.81	2.83	2.94	2.59	2.34	2.25
ヨーロッパ	0.99	0.99	0.96	0.68	0.59	0.49	0.39	0.43	0.18	0.02
東部ヨーロッパ	1.48	1.33	1.04	0.70	0.66	0.64	0.56	0.49	-0.06	-0.34
北部ヨーロッパ	0.39	0.53	0.77	0.56	0.39	0.20	0.25	0.33	0.26	0.27
南部ヨーロッパ	0.83	0.77	0.82	0.68	0.81	0.80	0.38	0.31	0.19	0.27
西部ヨーロッパ	0.66	0.84	1.04	0.70	0.42	0.15	0.16	0.49	0.55	0.29
ラテンアメリカ・カリブ海	2.65	2.69	2.75	2.57	2.46	2.33	2.13	1.93	1.72	1.56
カリブ海	1.77	1.87	2.07	1.83	1.76	1.49	1.55	1.38	1.08	0.96
中央アメリカ	2.73	3.02	3.09	3.14	3.07	2.73	2.26	2.10	1.99	1.75
南部アメリカ	2.75	2.70	2.72	2.47	2.32	2.28	2.16	1.92	1.69	1.56
北部アメリカ	1.70	1.77	1.46	1.10	0.97	0.97	1.03	1.04	1.08	1.04
オセアニア	2.15	2.16	2.26	1.98	1.61	1.46	1.52	1.57	1.52	1.42

地域	2000 ～05	2005 ～10	2010 ～15	2015 ～20	2020 ～25	2025 ～30	2030 ～35	2035 ～40	2040 ～45	2045 ～50
世 界	1.21	1.14	1.07	0.97	0.85	0.73	0.63	0.55	0.47	0.37
先進地域 ¹⁾	0.30	0.24	0.18	0.13	0.07	0.03	-0.01	-0.05	-0.08	-0.10
発展途上地域 ²⁾	1.42	1.34	1.26	1.14	0.99	0.86	0.75	0.66	0.56	0.45
アフリカ	2.18	2.11	2.05	1.93	1.81	1.70	1.59	1.47	1.34	1.21
東部アフリカ	2.36	2.34	2.29	2.17	2.04	1.92	1.80	1.68	1.54	1.39
中部アフリカ	2.65	2.70	2.66	2.57	2.46	2.34	2.18	2.00	1.81	1.63
北部アフリカ	1.73	1.73	1.57	1.37	1.20	1.05	0.92	0.79	0.66	0.53
南部アフリカ	0.75	0.15	0.04	0.10	0.10	0.07	0.04	0.04	0.06	0.11
西部アフリカ	2.42	2.27	2.19	2.05	1.90	1.77	1.65	1.52	1.40	1.27
アジア	1.21	1.12	1.04	0.91	0.75	0.60	0.48	0.40	0.30	0.19
東部アジア	0.60	0.53	0.50	0.38	0.20	0.04	-0.08	-0.16	-0.25	-0.36
南部・中央アジア	1.63	1.53	1.41	1.26	1.09	0.92	0.79	0.70	0.59	0.47
南東部アジア	1.38	1.23	1.07	0.91	0.78	0.65	0.53	0.41	0.29	0.18
西部アジア	2.09	1.88	1.76	1.59	1.44	1.28	1.12	0.98	0.85	0.73
ヨーロッパ	-0.00	-0.07	-0.13	-0.17	-0.22	-0.26	-0.29	-0.32	-0.34	-0.37
東部ヨーロッパ	-0.49	-0.47	-0.50	-0.55	-0.62	-0.68	-0.70	-0.71	-0.72	-0.76
北部ヨーロッパ	0.34	0.28	0.28	0.31	0.31	0.25	0.18	0.12	0.10	0.10
南部ヨーロッパ	0.45	0.19	0.01	-0.10	-0.17	-0.21	-0.23	-0.26	-0.32	-0.40
西部ヨーロッパ	0.25	0.17	0.11	0.08	0.04	0.00	-0.05	-0.10	-0.13	-0.15
ラテンアメリカ・カリブ海	1.42	1.29	1.15	1.01	0.87	0.73	0.59	0.46	0.34	0.22
カリブ海	0.87	0.81	0.72	0.61	0.50	0.38	0.26	0.15	0.04	-0.06
中央アメリカ	1.55	1.37	1.24	1.11	0.95	0.78	0.63	0.48	0.33	0.19
南部アメリカ	1.42	1.31	1.15	1.01	0.87	0.74	0.60	0.48	0.37	0.26
北部アメリカ	0.97	0.91	0.84	0.77	0.68	0.61	0.54	0.47	0.42	0.38
オセアニア	1.32	1.15	1.08	1.03	0.95	0.83	0.70	0.58	0.50	0.45

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(2) 人口増加率と人口動態率

今回の国連推計（中位推計）により人口の長期的推移をみると、単調増加、増加の後減少などいくつかの型があるが、どの型をとるかはこの間の人口増加率の動向によって決まる。表5に主要地域別の年平均人口増加率を示した。世界人口および発展途上地域の人口増加率は今後次第に減少するが、2050年まではプラスのままであり、今世紀の間なお人口増加が続くことを示している。一方先進地域の人口増加率は2030年頃を境にマイナスに転じるが、なかでもヨーロッパは一足早く人口減少への分岐点に立っている。

人口増加の時期と量は出生、死亡、国際人口移動の3要素によって決まるが、このうち出生率、死亡率、ならびに出生率と死亡率の差である自然増加率の推移を表6に示した。ここでいう出生率は普通（粗）出生率、死亡率は普通（粗）死亡率のことであり、1年間の出生数あるいは死亡数を年央人口1,000人当たりの率として示すものである。表に示したように、先進地域の自然増加率は2015年頃マイナスに転じる。それにもかかわらず先進地域の人口が2030年頃までなお増加するのは、死亡数が出生数を超過することによる人口減を移民の受け入れにより代償するからである。

表6 人口動態率：2004年推計（中位推計）

(%)

年次	世界			先進地域 ¹⁾			発展途上地域 ²⁾		
	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率
1950～55	37.5	19.5	18.0	22.4	10.3	12.1	44.6	23.8	20.8
1955～60	35.7	17.3	18.4	21.3	9.7	11.6	42.1	20.7	21.4
1960～65	35.3	15.5	19.8	19.7	9.4	10.4	41.8	18.1	23.7
1965～70	33.7	13.3	20.4	17.3	9.3	8.0	40.1	14.9	25.2
1970～75	30.9	11.5	19.4	16.2	9.5	6.7	36.2	12.2	24.0
1975～80	28.1	10.8	17.3	15.0	9.5	5.5	32.5	11.3	21.3
1980～85	27.6	10.3	17.3	14.5	9.7	4.8	31.6	10.5	21.2
1985～90	26.9	9.7	17.2	13.9	9.6	4.3	30.6	9.7	20.9
1990～95	24.6	9.5	15.1	12.3	10.1	2.2	27.9	9.4	18.5
1995～00	22.5	9.1	13.4	11.2	10.1	1.1	25.3	8.9	16.4
2000～05	21.1	9.0	12.1	11.0	10.2	0.8	23.5	8.7	14.8
2005～10	20.3	8.9	11.4	11.0	10.5	0.5	22.4	8.6	13.8
2010～15	19.5	8.8	10.7	10.7	10.7	0.0	21.4	8.4	13.0
2015～20	18.5	8.8	9.7	10.5	10.9	-0.5	20.1	8.3	11.7
2020～25	17.2	8.8	8.5	10.2	11.2	-1.0	18.6	8.3	10.3
2025～30	16.2	8.9	7.3	10.0	11.5	-1.5	17.3	8.4	8.9
2030～35	15.5	9.1	6.3	10.1	11.9	-1.8	16.4	8.7	7.8
2035～40	15.0	9.5	5.5	10.2	12.4	-2.2	15.8	9.0	6.9
2040～45	14.5	9.8	4.7	10.3	12.8	-2.5	15.1	9.3	5.9
2045～50	13.8	10.1	3.7	10.3	13.0	-2.7	14.4	9.6	4.8

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(3) 主要地域別人口の推移

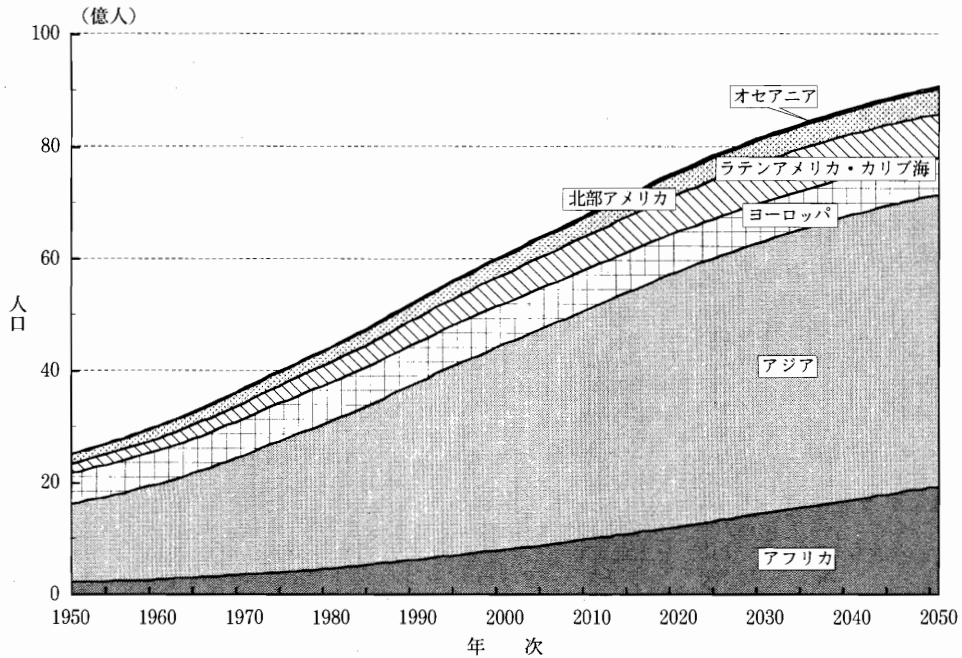
以下中位推計結果に従って地域別人口の推移を見ていくと、21世紀前半の世界の人口増加率は地域差が甚だ大きく、地域別人口とその割合は表7と図5に示したように大きく変動する。すなわち、主要地域別に見ると2005年現在39億500万の人口を抱え世界人口の60.4%を占めているアジアの人口は、2050年までにさらに13億1200万増え52億1700万に達するが、世界人口に占める割合はわずかながら低下し57.5%となる。またこの間、北部アメリカ、ラテンアメリカ・カリブ海諸国、オセアニアの世界人口に占める割合もさほど変わらない（各々5.1%から4.8%へ、8.7%から8.6%へ、0.5%から0.5%へ）。これに対し、アフリカの人口は2005年の9億600万から2050年の19億3700万へと倍増し、世界人口に占める割合も14.0%から21.3%へと急増する。他方、ヨーロッパの人口は2005年の7億2800万から2050年の6億5300万へと減少し、世界人口に占める割合も11.3%から7.2%に低下する。

表7 主要地域別人口および割合：2004年推計（中位推計）

地域	1950年	1975年	2000年	2005年	2025年	2050年
人口 (1,000人)						
世界	2,519,470	4,073,740	6,085,572	6,464,750	7,905,239	9,075,903
先進地域 ¹⁾	812,772	1,047,196	1,193,354	1,211,265	1,248,954	1,236,200
発展途上地域 ²⁾	1,706,698	3,026,543	4,892,218	5,253,484	6,656,285	7,839,702
アフリカ	224,068	415,824	812,466	905,936	1,344,491	1,936,952
東部アフリカ	64,986	125,811	255,681	287,707	447,683	678,716
中部アフリカ	26,332	46,987	96,040	109,641	184,332	303,349
北部アフリカ	53,302	97,863	175,051	190,895	255,959	311,893
南部アフリカ	15,624	29,302	52,069	54,055	55,136	56,004
西部アフリカ	63,823	115,861	233,624	263,636	401,381	586,989
アジア	1,396,254	2,395,218	3,675,799	3,905,415	4,728,131	5,217,202
東部アジア	670,985	1,096,726	1,479,233	1,524,380	1,651,971	1,586,704
南部・中央アジア	496,092	876,102	1,484,624	1,610,896	2,098,694	2,495,028
南東部アジア	178,073	321,293	518,867	555,815	678,347	752,254
西部アジア	51,104	101,097	193,075	214,323	299,119	383,216
ヨーロッパ	547,405	675,548	728,463	728,389	707,235	653,323
東部ヨーロッパ	220,199	285,700	304,636	297,328	267,149	223,539
北部ヨーロッパ	77,293	88,211	94,157	95,792	101,674	105,602
南部ヨーロッパ	108,996	132,472	146,081	149,389	148,866	138,716
西部ヨーロッパ	140,916	169,165	183,589	185,879	189,546	185,467
ラテンアメリカ・カリブ海	167,321	322,449	522,929	561,346	696,541	782,903
カリブ海	17,027	27,120	37,456	39,129	44,663	46,438
中央アメリカ	37,299	79,155	136,039	147,029	185,678	209,557
南アメリカ	112,995	216,173	349,434	375,187	466,200	526,907
北部アメリカ	171,615	243,417	314,968	330,608	388,032	437,950
オセアニア	12,807	21,284	30,949	33,056	40,809	47,572
割合 (%)						
世界	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
先進地域 ¹⁾	32.3	25.7	19.6	18.7	15.8	13.6
発展途上地域 ²⁾	67.7	74.3	80.4	81.3	84.2	86.4
アフリカ	8.9	10.2	13.4	14.0	17.0	21.3
アジア	55.4	58.8	60.4	60.4	59.8	57.5
ヨーロッパ	21.7	16.6	12.0	11.3	8.9	7.2
ラテンアメリカ・カリブ海	6.6	7.9	8.6	8.7	8.8	8.6
北部アメリカ	6.8	6.0	5.2	5.1	4.9	4.8
オセアニア	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図5 主要地域別人口：2004年推計（中位推計）



(4) 国別人口の推移

中位推計結果による主要国の人口および年平均人口増加率の推移を表8に、また過去、現在、将来の3つの年次（1950年、2000年、2050年）における国別人口の上位50か国を表9に示した。

現在のところ世界で最も人口の多い国といえば中国であり、その人口は2000年時点で12億7400万（世界人口の20.9%）であった。しかし厳しい人口政策を実行し出生率も人口置換水準以下に低下した中国の人口増加の趨勢は鈍化しており、2030年までにインドに抜かれ、2050年の人口は13億9200万にとどまる。2050年にはインドが世界一の人口大国になっており、その人口は15億9300万を数える（世界人口の17.5%を占める）。アメリカ合衆国は3時点のいずれにおいても世界で3番目に人口の多い国であるが、その人口は2050年に3億9500万に達する。2050年には、これにパキスタンを加えた4か国が3億以上の人口を擁する国となる。さらにインドネシア、ナイジェリア、ブラジル、バングラデシュを加えた8か国が2億以上の人口を抱える国となる。また人口1億以上の国は19か国を数えることになるが、このうち現在の先進地域に属するのはアメリカ合衆国、日本、ロシアの3か国だけであり、他方アフリカに人口1億以上の国が5か国出現する（なかでもナイジェリアの人口は2億を超える）ことは注目すべきことである。

表8 主要国の人口および人口増加率：2004年推計（中位推計）

国名	年央推計人口（1,000人）					年平均人口増加率（%）		
	1950年	1975年	2000年	2025年	2050年	1950 ～55年	2000 ～05年	2045 ～50年
エチオピア	18,434	34,114	68,525	118,354	170,190	2.10	2.44	1.21
ケニア	6,077	13,512	30,689	54,997	83,073	2.78	2.20	1.32
ウガンダ	5,054	10,766	24,309	60,601	126,950	2.61	3.40	2.39
タンザニア	7,650	16,044	34,763	52,807	66,845	2.59	1.95	0.65
コンゴ民主共和国	12,184	23,912	50,052	103,224	177,271	2.20	2.79	1.73
アルジェリア	8,753	16,018	30,463	42,871	49,500	2.09	1.51	0.35
エジプト	21,834	39,295	67,285	101,092	125,916	2.46	1.91	0.59
モロッコ	8,953	17,305	29,231	40,280	46,397	2.48	1.48	0.28
スーダン	9,190	17,056	32,902	51,031	66,705	2.18	1.93	0.82
南アフリカ	13,683	25,854	45,610	48,297	48,660	2.34	0.78	0.06
ナイジェリア	32,769	58,950	117,608	190,287	258,108	2.17	2.24	1.00
メキシコ	27,737	59,287	100,088	129,381	139,015	2.69	1.34	-0.02
アルゼンチン	17,150	26,049	36,896	46,115	51,382	1.97	0.98	0.27
ブラジル	53,975	108,124	173,858	227,930	253,105	3.06	1.39	0.20
コロンビア	12,568	25,381	42,120	57,738	65,679	2.90	1.59	0.25
ペルー	7,632	15,161	25,952	36,191	42,552	2.55	1.50	0.37
ベネズエラ	5,094	12,734	24,418	35,406	41,991	4.03	1.82	0.42
カナダ	13,737	23,142	30,689	37,797	42,844	2.72	1.00	0.39
アメリカ合衆国	157,813	220,165	284,154	350,103	394,976	1.61	0.97	0.38
中国	554,760	927,808	1,273,979	1,441,426	1,392,307	1.87	0.65	-0.35
北朝鮮	10,815	16,018	21,862	24,118	24,192	-0.90	0.56	-0.10
日本	83,625	111,524	127,034	124,819	112,198	1.43	0.17	-0.49
韓国	18,859	35,281	46,779	49,457	44,629	2.55	0.44	-0.65
アフガニスタン	8,151	14,319	23,735	55,443	97,324	1.92	4.59	1.83
バングラデシュ	41,783	73,178	128,916	193,752	242,937	1.94	1.91	0.62
インド	357,561	620,701	1,021,084	1,395,496	1,592,704	2.00	1.55	0.32
イラン	16,913	33,344	66,365	89,042	101,944	2.42	0.93	0.31
ネパール	8,643	13,548	24,431	38,600	51,172	1.49	2.10	0.86
パキスタン	36,944	68,294	142,648	229,353	304,700	2.15	2.04	0.84
ウズベキスタン	6,314	13,981	24,724	34,042	38,665	2.78	1.46	0.23
インドネシア	79,538	134,395	209,174	263,746	284,640	1.67	1.26	0.06
マレーシア	6,110	12,258	22,997	33,223	38,924	2.72	1.95	0.41
ミャンマー	17,832	30,138	47,724	59,002	63,657	1.79	1.14	0.10
フィリピン	19,996	42,019	75,766	109,084	127,068	2.99	1.84	0.37
タイ	19,626	41,292	61,438	72,635	74,594	2.96	0.89	-0.09
ベトナム	27,367	47,974	78,671	104,343	116,654	1.87	1.37	0.18
イラク	5,340	11,972	25,075	44,664	63,693	3.19	2.78	1.09
サウジアラビア	3,201	7,251	21,484	37,160	49,464	2.31	2.69	0.83
トルコ	21,484	41,211	68,234	90,565	101,208	2.72	1.40	0.20
ポーランド	24,824	34,015	38,649	37,095	31,916	1.89	-0.06	-0.70
ルーマニア	16,311	21,245	22,117	19,858	16,757	1.39	-0.37	-0.78
ロシア	102,702	134,233	146,560	129,230	111,752	1.63	-0.46	-0.59
ウクライナ	37,298	49,016	49,116	37,335	26,393	1.45	-1.10	-1.52
イギリス	49,816	55,426	58,670	63,663	67,143	0.23	0.34	0.17
イタリア	47,104	55,441	57,715	56,307	50,912	0.64	0.13	-0.52
スペイン	28,009	35,596	40,717	44,244	42,541	0.83	1.12	-0.30
フランス	41,829	52,699	59,278	63,407	63,116	0.75	0.41	-0.13
ドイツ	68,376	78,674	82,344	81,967	78,765	0.56	0.08	-0.17

なお1950年、2000年、2050年における日本の人口（各々8400万、1億2700万、1億1200万）は各々その時点の世界人口の3.3%、2.1%、1.2%に相当する。後述するように、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計（2002年、中位推計）による2050年の日本人口はこれよりも1200万少なく、この場合世界人口に占める割合は1.1%となる。

表9 人口の多い国：2004年推計（中位推計）

(1,000人)

順位	1950年		2000年		2050年	
	国名	総人口	国名	総人口	国名	総人口
1	中国	554,760	中国	1,273,979	インド	1,592,704
2	インド	357,561	インド	1,021,084	中国	1,392,307
3	アメリカ合衆国	157,813	アメリカ合衆国	284,154	アメリカ合衆国	394,976
4	ロシア	102,702	インドネシア	209,174	パキスタ	304,700
5	日本	83,625	ブラジル	173,858	インドネシア	284,640
6	インドネシア	79,538	ロシア	146,560	ナイジェリア	258,108
7	ドイツ	68,376	バングラデシュ	142,648	ブラジル	253,105
8	ブラジル	53,975	バングラデシュ	128,916	パキスタ	242,937
9	イギリス	49,816	日本	127,034	インドネシア	177,271
10	イタリア	47,104	ナイジェリア	117,608	エチオピア	170,190
11	フランス	41,829	メキシコ	100,088	メキシコ	139,015
12	パキスタ	41,783	ベトナム	82,344	フィリピン	127,068
13	インドネシア	37,298	ドイツ	78,671	ウガンダ	126,950
14	パキスタ	36,944	フィリピン	75,766	エジプト	125,916
15	ナイジェリア	32,769	エチオピア	68,525	ベトナム	116,654
16	スベイス	28,009	エチオピア	68,234	日本	112,198
17	メキシコ	27,737	エジプト	67,285	ロシア	111,752
18	ベトナム	27,367	イラン	66,365	イラン	101,944
19	ポーランド	24,824	タイ	61,438	トルコ	101,208
20	エジプト	21,834	フランス	59,278	アフガニスタ	97,324
21	トルコ	21,484	イギリス	58,670	ケニア	83,073
22	フィリピン	19,996	イタリ	57,715	ドミニカ	78,765
23	タイ	19,626	インドネシア	50,052	タイ	74,594
24	韓国	18,859	ウクライナ	49,116	イギリス	67,143
25	エチオピア	18,434	ミャンマー	47,724	タンザニア	66,845
26	エミオン	17,832	韓国	46,779	スーダ	66,705
27	アルゼンチン	17,150	南アフリカ	45,610	コロンビア	65,679
28	イラン	16,913	コロンビア	42,120	イラン	63,693
29	ルーマニア	16,311	スเปน	40,717	ミャンマー	63,657
30	カナダ	13,737	ポーランド	38,649	フランス	63,116
31	南アフリカ	13,683	アルゼンチン	36,896	イエメ	59,454
32	コロンビア	12,568	タンザニア	34,763	アルゼンチン	51,382
33	インドネシア	12,184	スーダ	32,902	ネパ	51,172
34	北朝鮮	10,815	ケニア	30,689	イタリ	50,912
35	オランダ	10,114	カナダ	30,689	ニジェール	50,156
36	ハンガリ	9,338	アルジェリ	30,463	アルジェリ	49,500
37	スーダ	9,190	モロッコ	29,231	サウジアラビ	49,464
38	モロッコ	8,953	ペルー	25,952	南アフリカ	48,660
39	チエ	8,925	イラク	25,075	モロッコ	46,397
40	アルジェリ	8,753	ウズベク	24,724	韓国	44,629
41	ネパ	8,643	ネパ	24,431	マダガスカル	43,508
42	ベルギー	8,639	ベネズエラ	24,418	アンゴラ	43,501
43	ポルトガル	8,405	ウガンダ	24,309	カナダ	42,844
44	オーストラリア	8,219	アフガニスタ	23,735	ベル	42,552
45	アフガニスタ	8,151	マレーシア	22,997	スベイス	42,541
46	スリランカ	7,782	ルーマニア	22,117	ベネズエラ	41,991
47	ベラルーシ	7,745	北朝鮮	21,862	マ	41,976
48	タンザニア	7,650	サウジアラビ	21,484	ガ	40,573
49	ペルー	7,632	ガ	19,867	ブルキナファソ	39,093
50	ギリシ	7,566	スリランカ	19,848	マレーシア	38,924

UN, World Population Prospects: The 2004 Revision (中位推計) に掲載されている192か国のうちの順位。

このような国別人口ランキングの変動が人口増加率の差によってもたらされることは言うまでもない。表10に3つの期間（1950～55年，2000～05年，2045～50年）における年平均人口増加率の最も高い25か国と最も低い25か国を示した（ただし2005年の人口が100万未満の国は除いてある）。2045～50年においても年平均人口増加率が2%を超える国がウ

ガンダを筆頭に7か国あるが、いずれもサハラ以南アフリカの国々である。その一方で旧ソ連・東欧を中心に人口増加率がマイナスに転じる国も多い。とりわけウクライナ、グルジア、ブルガリアの3か国は、人口増加率が2045～50年にマイナス1%を下回り、21世紀半ばにおいても急速な人口減少が続くことになる。

表10 人口増加率の高い国と低い国：2004年推計（中位推計）（年平均：%）

順位	1950～55年		2000～05年		2045～50年	
	国名	増加率	国名	増加率	国名	増加率
1	ヨルダン	6.85	アラブ首長国連邦	6.51	ウガンダ	2.39
2	イスラエル	6.58	アフガニスタン	4.59	ニジェール	2.12
3	クウェート	5.37	エリトリア	4.26	ブルンジ	2.10
4	シンガポール	4.90	シエラレオネ	4.07	リベリア	2.08
5	ホンコン特別行政区	4.64	クウェート	3.73	コロンビア	2.07
6	ベネズエラ	4.03	チャド	3.42	ギニア・ビサウ	2.05
7	カザフスタ	3.52	ウガンダ	3.40	チニ	2.03
8	コートジボアール	3.40	ニジェール	3.39	マドリ	1.84
9	イラク	3.19	パレスチナ占領地区	3.23	アフガニスタン	1.83
10	イコスタリカ	3.12	ソマリ	3.20	ブルキナファソ	1.75
11	ホンジュラス	3.09	ベニアン	3.18	コンゴ民主共和国	1.73
12	ジンバブエ	3.06	ブルキナファソ	3.17	アンゴラ	1.61
13	ガブーン	3.06	イェメン	3.13	シエラレオネ	1.56
14	ブラジ	3.06	ブルンジ	3.03	イエメ	1.54
15	タジキスタン	3.04	コンゴ	3.02	ギニア	1.45
16	ドミニカ共和国	3.02	ギニア・ビサウ	3.00	ベニ	1.44
17	ニカラガ	3.01	マリ	2.98	ソマリ	1.42
18	ナイリピア	2.99	モーリタニア	2.98	パレスチナ占領地区	1.41
19	タモリシヤ	2.96	ガンビア	2.85	マラウイ	1.37
20	モロッコ	2.91	アンゴラ	2.83	エリトリア	1.36
21	コロンビア	2.90	コンゴ民主共和国	2.79	モーリタニア	1.33
22	ニジェール	2.89	イマラ	2.78	ケニア	1.32
23	アルメニア	2.89	マダガスカル	2.78	マダガスカル	1.28
24	グアテマラ	2.80	ヨルダン	2.74	エチオピア	1.21
25	ルワンダ	2.78	ト	2.72	ザンビ	1.12
...
113 (41)	日本	1.43
...
129 (25)	ハンガリー	1.02	クアチン	0.20	マケドニア	-0.46
130 (24)	ノルウェー	0.97	スワジランド	0.18	日本	-0.49
131 (23)	ギニア・ビサウ	0.90	日本	0.17	イタリア	-0.52
132 (22)	スベ	0.83	イタリ	0.13	トリニダード・トバゴ	-0.52
133 (21)	スチベ	0.83	イボツ	0.12	ハロンガ	-0.57
134 (20)	スロベニア	0.79	ドレイソ	0.08	ハロンガ	-0.59
135 (19)	デンマーク	0.77	ドレイソ	0.08	ジャマイカ	-0.61
136 (18)	フランス	0.75	スロバキア	0.00	チクエ	-0.62
137 (17)	パレスチナ占領地区	0.73	スロバキア	0.00	チクエ	-0.64
138 (16)	スウェーデン	0.70	ポーランド	-0.06	韓国	-0.65
139 (15)	ブルガリア	0.67	セルビア・モンテネグロ	-0.08	スロベニア	-0.68
140 (14)	ライト	0.67	チン	-0.09	スロバキア	-0.68
141 (13)	イタリア	0.64	ハンガリー	-0.25	カザフスタン	-0.69
142 (12)	クロアチア	0.60	カザフスタン	-0.28	ポーランド	-0.70
143 (11)	ドバイ	0.56	モルドバ	-0.33	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-0.73
144 (10)	ベルギー	0.52	アルメニア	-0.37	アルメニア	-0.77
145 (9)	ポルトガル	0.48	リトアニア	-0.40	アルメニア	-0.78
146 (8)	リトアニア	0.47	アルメニア	-0.43	モルドバ	-0.85
147 (7)	ブルガリア	0.29	ロシア	-0.46	モルドバ	-0.87
148 (6)	ガボン	0.28	エストニア	-0.55	リトアニア	-0.90
149 (5)	イギリス	0.23	ペラ	-0.55	ベチラ	-0.91
150 (4)	ペルー	0.15	ラトビア	-0.57	ベチラ	-0.93
151 (3)	オーストリア	0.04	ブルガリア	-0.69	ブルガリア	-1.09
152 (2)	アイスランド	-0.33	グランド	-1.07	グランド	-1.31
153 (1)	北朝鮮	-0.90	ウクライナ	-1.10	ウクライナ	-1.52

UN, *World Population Prospects: The 2004 Revision* (中位推計) に掲載されている192か国のうち2005年人口が100万人以上の国 (153か国) についての順位。

2. 出生率

(1) 世界の出生率の推移

前述の通り、低位、中位、高位という3通りの推計は、将来の出生率についての仮定の置き方の違いによる。表11および図6に今回推計における世界および先進地域・発展途上地域別の合計特殊出生率の仮定値を示した。

先進地域を全体としてみた合計特殊出生率は1970年代後半から人口置換水準（約2.1）を下回っており「少子化」状態となっている。それは2000～05年現在1.56と推計されているが、中位推計によれば、今後約50年間ゆるやかに上昇し2045～50年には1.84に、すなわち1980年代半ばの水準まで回復する。高位推計によれば、人口置換水準を超えて上昇し、2045～50年には2.34に達する（中位推計より0.5高い）。低位推計の場合、2015～20年の1.14まで低下した後、上昇に転じ、2045～50年には1.34に達する（中位推計より0.5低い）。

発展途上地域を全体としてみた合計特殊出生率は、1950年代初めには6を超えていたが、1970年代以降急速に低下し、2000～05年現在2.90と推計されている。中位推計によれば、今後約50年間順調に低下し、2045～50年には2.07となる。高位推計によれば、2010～15年の3.03まで上昇した後、同様に低下するが2045～50年でも2.56にとどまる（中位推計より約0.5高い）。低位推計によれば、今後半世紀の合計特殊出生率の低下幅は中位推計より大きく、2045～50年には1.59になる（中位推計より約0.5低い）。

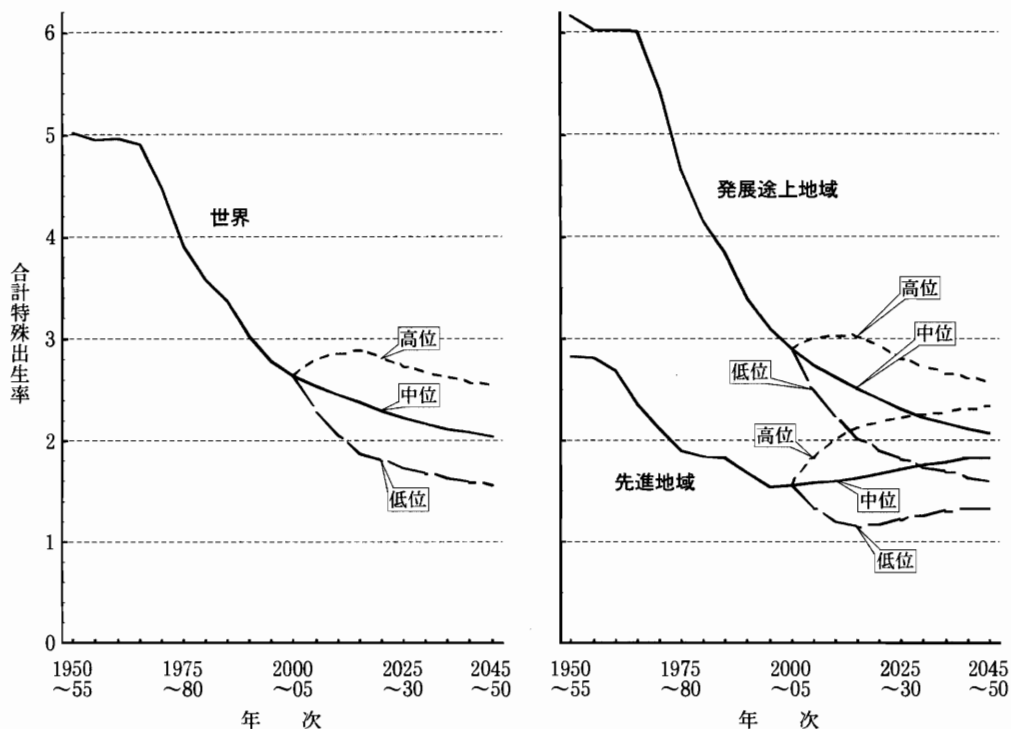
世界を全体としてみた合計特殊出生率は、世界人口の大部分が発展途上地域の人口によって占められることから、発展途上地域のそれと似通った動きをする。最終的に2045～50年には1.56（低位推計）、2.05（中位推計）または2.53（高位推計）となる（中位推計に比べ、低位推計では約0.5低く、高位推計では約0.5高い）。すなわち今世紀半ばまでに、中位推計によれば世界は全体として人口置換水準の出生力が実現し、低位推計によれば2015年頃以降世界は全体として「少子化」状態になる。しかし高位推計によれば、出生力はなお人口置換水準より相当高く、人類は21世紀後半においても持続的人口増加の局面から脱することができない。

表11 合計特殊出生率の仮定値：2004年推計

年次	世界			先進地域 ¹⁾			発展途上地域 ²⁾		
	低位	中位	高位	低位	中位	高位	低位	中位	高位
1950～55		5.02			2.84			6.17	
1955～60		4.96			2.82			6.02	
1960～65		4.97			2.69			6.03	
1965～70		4.91			2.37			6.02	
1970～75		4.49			2.13			5.44	
1975～80		3.92			1.91			4.65	
1980～85		3.58			1.85			4.15	
1985～90		3.38			1.83			3.84	
1990～95		3.04			1.68			3.41	
1995～00		2.79			1.55			3.10	
2000～05		2.65			1.56			2.90	
2005～10	2.30	2.55	2.80	1.34	1.59	1.84	2.50	2.75	3.00
2010～15	2.07	2.47	2.86	1.21	1.61	2.00	2.23	2.63	3.03
2015～20	1.89	2.38	2.88	1.14	1.64	2.14	2.02	2.52	3.02
2020～25	1.81	2.31	2.80	1.18	1.68	2.17	1.91	2.41	2.91
2025～30	1.74	2.23	2.73	1.22	1.72	2.21	1.82	2.31	2.81
2030～35	1.68	2.17	2.66	1.26	1.76	2.26	1.74	2.23	2.72
2035～40	1.64	2.13	2.62	1.30	1.80	2.29	1.68	2.17	2.66
2040～45	1.60	2.09	2.57	1.33	1.83	2.33	1.63	2.12	2.61
2045～50	1.56	2.05	2.53	1.34	1.84	2.34	1.59	2.07	2.56

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図6 合計特殊出生率の仮定値：2004年推計



(2) 主要地域別出生率の推移

中位推計による世界の主要地域別の合計特殊出生率の推移を表12に示した。発展途上地域を全体としてみた合計特殊出生率は上述のように2000～05年現在2.90であり2045～50年には2.07まで低下するが、地域差が大きい。今世紀半ばにはアジア、ラテンアメリカ・カリブ海諸国、オセアニアは2を下回るが、アフリカは約2.5にとどまり依然出生率が人口置換水準を上回る状態が続く。

表12 主要地域別合計特殊出生率：2004年推計（中位推計）

地域	1950～55年	1960～65年	1970～75年	1980～85年	1990～95年	2000～05年	2010～15年	2020～25年	2030～35年	2045～50年
世界	5.02	4.97	4.49	3.58	3.04	2.65	2.47	2.31	2.17	2.05
先進地域 ¹⁾	2.84	2.69	2.13	1.85	1.68	1.56	1.61	1.68	1.76	1.84
発展途上地域 ²⁾	6.17	6.03	5.44	4.15	3.41	2.90	2.63	2.41	2.23	2.07
アフリカ	6.72	6.86	6.72	6.45	5.67	4.98	4.35	3.68	3.13	2.52
東部アフリカ	6.95	6.98	7.04	6.84	6.25	5.58	4.82	3.96	3.28	2.58
中部アフリカ	6.00	6.25	6.49	6.64	6.51	6.25	5.83	4.99	4.06	2.92
北部アフリカ	6.82	7.08	6.41	5.72	4.12	3.18	2.69	2.38	2.16	1.96
南部アフリカ	6.46	6.48	5.58	4.72	3.52	2.90	2.54	2.27	2.08	1.88
西部アフリカ	6.79	6.89	7.03	7.01	6.59	5.83	4.84	3.91	3.24	2.57
アジア	5.89	5.64	5.08	3.67	2.96	2.47	2.26	2.09	1.97	1.91
東部アジア	5.68	5.17	4.47	2.47	1.88	1.66	1.77	1.82	1.83	1.85
南部・中央アジア	6.10	6.00	5.61	4.82	4.06	3.20	2.65	2.28	2.04	1.95
南東部アジア	5.95	6.09	5.53	4.25	3.20	2.52	2.14	1.95	1.89	1.86
西部アジア	6.48	6.27	5.73	5.04	4.08	3.36	2.89	2.52	2.24	2.03
ヨーロッパ	2.66	2.58	2.16	1.88	1.58	1.40	1.47	1.59	1.71	1.83
東部ヨーロッパ	2.91	2.43	2.15	2.08	1.63	1.27	1.34	1.48	1.63	1.80
北部ヨーロッパ	2.32	2.73	2.08	1.81	1.81	1.66	1.70	1.82	1.84	1.85
南部ヨーロッパ	2.65	2.71	2.54	1.83	1.41	1.34	1.44	1.56	1.69	1.84
西部ヨーロッパ	2.39	2.67	1.92	1.61	1.50	1.56	1.60	1.69	1.76	1.85
ラテンアメリカ・カリブ海	5.89	5.97	5.05	3.93	3.03	2.55	2.26	2.06	1.93	1.86
カリブ海	5.23	5.48	4.38	3.39	2.72	2.47	2.27	2.14	2.03	1.91
中央アメリカ	6.87	6.83	6.47	4.53	3.47	2.68	2.27	2.06	1.94	1.85
南アメリカ	5.69	5.77	4.65	3.79	2.90	2.50	2.25	2.06	1.92	1.86
北部アメリカ	3.47	3.34	2.01	1.81	1.99	1.99	1.93	1.83	1.84	1.85
オセアニア	3.87	3.98	3.23	2.62	2.53	2.32	2.18	2.10	2.01	1.92

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

3. 死亡率

今回推計（2004年版）の中位推計による世界および主要地域別の男女別平均寿命の推移を表13に示した。

このうち先進地域においては男女の平均寿命は1950～55年に各々63.5年、68.8年であったのが、2000～05年には各々70.7年、78.5年に達し、さらに2045～50年までには各々78.7年、84.6年に伸びる。男女とも今後半世紀において平均寿命はさらに7～8年伸び、男性では80年近くまで、女性では85年近くまで達することになる。主要地域別にみると、東部ヨーロッパ以外のヨーロッパ諸地域と北部アメリカが長寿化の先頭を走っており、これらの地域では2045～50年の男性の平均寿命は80年を超える。他方、東部ヨーロッパでは1970

表13 主要地域の性別平均寿命：2004年推計（中位推計）

（年）

地 域	男					女				
	1950～ 55年	1970～ 75年	2000～ 05年	2020～ 25年	2045～ 50年	1950～ 55年	1970～ 75年	2000～ 05年	2020～ 25年	2045～ 50年
世 界	45.0	56.7	62.5	67.3	72.4	47.8	59.7	67.0	71.8	77.0
先 進 地 域 ¹⁾	63.5	67.5	70.7	74.8	78.7	68.8	74.9	78.5	81.5	84.6
発 展 途 上 地 域 ²⁾	40.0	54.3	61.2	66.1	71.5	41.6	55.6	64.6	70.0	75.8
ア フ リ カ	37.0	45.1	47.9	54.8	63.7	39.6	48.1	49.6	56.6	66.8
東 部 ア フ リ カ	35.9	45.0	45.0	53.8	63.2	38.5	48.1	45.9	55.0	66.0
中 部 ア フ リ カ	34.6	42.6	42.3	48.6	58.2	37.8	45.9	44.4	50.9	61.2
北 部 ア フ リ カ	40.3	49.4	63.9	69.2	74.0	42.7	52.0	67.5	73.2	78.4
南 部 ア フ リ カ	43.6	50.9	45.9	49.6	58.3	45.8	56.1	49.4	47.2	59.8
西 部 ア フ リ カ	35.1	41.7	45.6	52.7	63.0	37.7	44.4	46.6	53.7	65.1
ア ジ ア	40.4	56.0	65.2	70.1	74.9	41.8	56.8	69.0	74.7	79.4
東 部 ア ジ ア	40.7	63.0	70.3	72.8	77.0	43.8	64.8	74.3	78.0	81.7
南 部・中央 ア ジ ア	40.1	51.1	61.6	67.8	73.4	38.8	49.8	64.5	71.5	77.5
南 東 部 ア ジ ア	40.1	50.6	64.3	70.5	75.2	42.4	54.1	69.4	74.9	79.6
西 部 ア ジ ア	43.7	55.3	65.8	71.6	75.6	46.7	59.1	70.0	76.1	80.3
ヨ ー ロ ッ パ	62.9	67.3	68.9	73.0	77.3	68.0	74.4	77.7	80.2	83.4
東 部 ヨ ー ロ ッ パ	60.6	65.1	61.3	65.8	71.2	67.3	74.0	73.2	75.2	78.4
北 部 ヨ ー ロ ッ パ	66.8	69.2	75.2	78.3	81.3	71.5	75.5	80.5	83.0	85.7
南 部 ヨ ー ロ ッ パ	61.5	68.7	75.2	77.9	80.7	65.2	74.2	81.6	84.0	86.7
西 部 ヨ ー ロ ッ パ	65.1	68.4	75.8	78.5	81.2	69.9	74.9	82.0	84.4	87.0
ラテンアメリカ・カリブ海	49.4	58.3	67.7	72.7	76.3	52.6	62.8	74.4	78.9	82.4
カ リ ブ 海	49.6	60.1	63.2	69.2	74.2	52.3	63.4	67.8	73.3	78.3
中 央 ア メ リ カ	47.1	58.3	70.4	74.7	77.5	50.0	62.8	75.6	79.9	82.6
南 ア メ リ カ	50.1	58.0	67.3	72.3	76.0	53.6	62.7	74.8	79.0	82.7
北 部 ア メ リ カ	66.1	67.8	74.7	77.2	80.1	72.0	75.5	80.1	82.5	85.2
オ セ ア ニ ア	58.1	63.1	71.7	75.8	78.9	62.9	68.7	76.2	79.9	83.3

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

～75年と2000～2005年の間に男女とも平均寿命の短縮（男性は65.1年から61.3年へ、女性は74.0年から73.2年へ）がみられる。東部ヨーロッパでも今後平均寿命は伸びるが、2045～50年においても他のヨーロッパ諸地域や北部アメリカより約10年短い。

一方、発展途上地域においては男女の平均寿命は1950～55年に各々40.0年、41.6年であったのが、2000～05年には各々61.2年、64.6年に達し、さらに2045～50年までには各々71.5年、75.8年に伸びる。すなわち今世紀終わりには、発展途上地域の寿命水準はほぼ先進地域の現在の寿命水準に達することになる。しかし発展途上地域をさらに細かく見るとその格差は非常に大きく、アジアとラテンアメリカ・カリブ海諸国では2045～50年の平均寿命が男性では約75年、女性では80年前後に達するのに対し、現在でも男女の平均寿命が50年に届かないアフリカの平均寿命は今世紀半ばに至っても65年前後にとどまり発展途上地域全体と比べても8～9年短い。アフリカの死亡率低下が停滞している背景にはHIVの高い感染率がある。

世界を全体としてみた場合すなわち人類の平均寿命は、世界人口の大部分が発展途上地域の人口によって占められることから、発展途上地域のそれと似通った動きをする。2045～50年の平均寿命は男性では72.4年、女性では77.0年となり、現在先進地域の人々が享受している長寿社会が全球的に実現することになる。

表14には過去、現在、将来の3つの期間における平均寿命（男女別）の長い20か国を示した。1950～55年においてはノルウェー、オランダ、スウェーデン、デンマークなど北欧諸国が最上位を占めたが、その後日本の平均寿命が急伸し、2000～05年には女性では85.3年で首位、男性でも78.3年でホンコンに次ぎ2位を占めている。日本の平均寿命は今後さらに伸び、2045～50年には男女とも世界の最長寿命国であり、しかも女性の平均寿命は90年を超えると推計されている。欧州と日本以外では、2045～50年の平均寿命が上位にくる国として韓国（女性で3位）、カナダ（男性で4位）、シンガポール（男性で6位）などが注目される。

表14 平均寿命の長い国：2004年推計（中位推計）

順位	1950～55年		2000～05年		2045～50年	
	国名	平均寿命	国名	平均寿命	国名	平均寿命
男						
1	ノルウェー	70.9	ホンコン特別行政区	78.6	日本	84.1
2	オランダ	70.9	日本	78.3	ホンコン特別行政区	83.7
3	スウェーデン	70.4	スウェーデン	77.8	スウェーデン	83.4
4	デンマーク	69.6	オーストラリア	77.6	カナダ	83.0
5	ニュージーランド	67.5	スイス	77.6	スイス	82.8
6	スイス	67.0	イスラエル	77.5	シンガポール	82.8
7	オーストラリア	66.9	カナダ	77.3	ノルウェー	82.7
8	カナダ	66.8	イタリア	76.8	オーストラリア	82.7
9	イギリス	66.7	ノルウェー	76.7	オーストラリア	82.7
10	アメリカ合衆国	66.1	ニュージーランド	76.7	イスラエル	82.6
11	アイルランド	65.7	シンガポール	76.7	ニュージーランド	82.4
12	ドイツ	65.3	アラブ首長国連邦	76.3	イタリア	82.2
13	ベルギー	65.0	イギリス	75.9	アラブ首長国連邦	82.2
14	チエラ	64.5	オーストラリア	75.9	フィンランド	82.1
15	イスラエル	64.4	コスタリカ	75.8	フィリピン	81.5
16	ギリシャ	64.3	スウェーデン	75.8	フランス	81.5
17	イタリア	64.3	フランス	75.8	スウェーデン	81.4
18	フィンランド	63.7	ベルギー	75.7	ベルギー	81.1
19	ウルグアイ	63.3	ドイツ	75.6	アイルランド	81.0
20	フィンランド	63.2	オランダ	75.6	ドイツ	80.9
28	日本	61.6				
女						
1	ノルウェー	74.5	日本	85.3	日本	92.5
2	オランダ	73.4	ホンコン特別行政区	84.6	ホンコン特別行政区	89.5
3	スウェーデン	73.3	スイス	83.1	韓国	88.3
4	デンマーク	72.4	スウェーデン	83.1	スイス	88.3
5	オーストラリア	72.4	イタリア	83.0	スウェーデン	88.3
6	アメリカ合衆国	72.0	フィンランド	83.0	イタリア	88.1
7	イギリス	71.8	オーストラリア	82.8	フランス	88.0
8	ニュージーランド	71.8	カナダ	82.4	カナダ	87.7
9	スイス	71.6	スウェーデン	82.3	スウェーデン	87.6
10	カナダ	71.6	ベルギー	81.9	オーストラリア	87.4
11	チエラ	70.3	ノルウェー	81.8	ノルウェー	87.2
12	ベルギー	70.2	オーストラリア	81.7	アラブ首長国連邦	87.2
13	ベラルーシ	70.0	フィンランド	81.7	オーストラリア	87.1
14	ウクライナ	69.7	イスラエル	81.6	フィンランド	87.1
15	フィンランド	69.6	ドイツ	81.4	ベルギー	86.7
16	ドイツ	69.6	ニュージーランド	81.3	イスラエル	86.5
17	フランス	69.5	オランダ	81.0	ドイツ	86.5
18	ウルグアイ	69.4	ギリシャ	80.8	ニュージーランド	86.3
19	ラトビア	69.0	チリ	80.8	シンガポール	86.2
20	オーストラリア	68.4	アラブ首長国連邦	80.6	アイルランド	86.1
35	日本	65.5				

UN, *World Population Prospects: The 2004 Revision* に掲載されている192か国のうち2005年人口が100万人以上の国（153か国）についての順位。

4. 国際人口移動

国際人口移動は、出生、死亡と並んで、国別あるいは地域別人口の変動をもたらす3要素の一つである。表15に今回推計（2004年版）の中位推計による世界の主要地域別の年平均純移動数を示した。純移動数とは国ごとに1年間の入移民数から出移民数を差し引いた人数であり、これがプラスであれば入移民数が出移民数を上回る「移民受け入れ国」、マイナスであれば出移民数が入移民数を上回る「移民送り出し国」といえる。表は、各国の純移動数を地域別に合計したものである。

現在、先進地域と発展途上地域に分けてみると、前者は差し引き260万の移民を受け入れ、後者は差し引き260万の移民を送り出していると推計されている。この純移動数は2020年以降年間216万で一定と仮定されている。

主要地域別にみると、ヨーロッパと北部アメリカは現在1年間に差し引き各々110万、140万の移民を受け入れているが、2010年以降も年間各々70万、130万の移民受け入れが続く。他方、総じて、現在移民を送り出しているアジア、アフリカ、ラテンアメリカ・カリブ海諸国は、今世紀前半にわたって年間各々120万、30万、60万ほどの移民を送り出すと仮定されている。

表15 主要地域別年平均純移動数：2004年推計（中位推計）

(1,000人)

期間	先進地域	発展途上地域	アフリカ	アジア	ヨーロッパ	ラテンアメリカ・カリブ海	北部アメリカ	オセアニア
1995～2000	2,604	-2,604	-280	-1,415	1,057	-838	1,386	90
2000～05	2,622	-2,622	-455	-1,297	1,083	-804	1,370	103
2005～10	2,301	-2,301	-366	-1,191	792	-676	1,350	92
2010～15	2,173	-2,173	-292	-1,197	704	-617	1,310	92
2015～20	2,163	-2,163	-325	-1,204	704	-567	1,300	92
2020～25	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94
2025～30	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94
2030～35	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94
2035～40	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94
2040～45	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94
2045～50	2,158	-2,158	-322	-1,204	699	-567	1,300	94

5. 年齢別人口

(1) 世界および主要地域別にみた人口年齢構造の推移

出生力の低下と寿命の伸長が組み合わさった結果として人口高齢化が進行する。今回の国連推計（2004年版）の中位推計結果による世界および主要地域の年齢3区分別人口の推移を表16に、その割合の推移を表17に示した。

表16 主要地域別、年齢（3区分）別人口：2004年推計（中位推計）

(1,000人)

地域	1950年			2000年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界	864,139	1,524,456	130,875	1,827,902	3,836,319	421,351
先進地域 ¹⁾	222,314	526,424	64,034	218,366	803,977	171,010
発展途上地域 ²⁾	641,825	998,032	66,841	1,609,536	3,032,341	250,341
アフリカ	94,014	122,808	7,246	345,865	440,020	26,581
東部アフリカ	28,220	34,862	1,905	115,804	132,431	7,445
中部アフリカ	10,830	14,506	996	44,311	48,908	2,821
北部アフリカ	21,985	29,474	1,844	62,353	105,235	7,463
南部アフリカ	6,083	8,971	570	17,977	32,203	1,889
西部アフリカ	26,897	34,995	1,931	105,419	121,242	6,962
アジア	509,429	829,397	57,429	1,111,921	2,347,627	216,251
東部アジア	228,924	412,085	29,976	351,897	1,012,727	114,609
南部・中央アジア	191,468	286,171	18,453	525,553	890,717	68,354
南東部アジア	69,244	102,077	6,752	165,605	328,346	24,916
西部アジア	19,793	29,064	2,248	68,866	115,837	8,372
ヨーロッパ	143,241	359,204	44,960	127,711	493,334	107,418
東部ヨーロッパ	61,915	143,936	14,348	55,549	209,862	39,225
北部ヨーロッパ	18,317	51,014	7,962	17,952	61,557	14,648
南部ヨーロッパ	30,136	70,559	8,302	22,884	99,117	24,080
西部ヨーロッパ	32,873	93,696	14,348	31,327	122,798	29,464
ラテンアメリカ・カリブ海	66,935	94,184	6,202	167,157	326,627	29,145
カリブ海	6,574	9,692	761	11,189	23,678	2,589
中央アメリカ	15,781	19,998	1,520	47,914	81,834	6,291
南アメリカ	44,579	64,495	3,921	108,054	221,115	20,265
北部アメリカ	46,697	110,819	14,100	67,140	208,868	38,960
オセアニア	3,825	8,044	938	8,108	19,844	2,998

地域	2025年			2050年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界	1,909,249	5,163,840	832,151	1,832,572	5,778,393	1,464,938
先進地域 ¹⁾	195,886	792,770	260,298	193,420	722,042	320,738
発展途上地域 ²⁾	1,713,363	4,371,070	571,852	1,639,152	5,056,350	1,144,200
アフリカ	495,479	792,143	56,869	555,663	1,252,474	128,815
東部アフリカ	176,826	255,570	15,288	206,497	436,725	35,494
中部アフリカ	80,707	98,421	5,203	102,851	188,563	11,935
北部アフリカ	69,173	168,777	18,009	64,289	204,236	43,369
南部アフリカ	16,122	34,703	4,312	13,568	37,544	4,893
西部アフリカ	152,651	234,672	14,057	168,458	385,407	33,124
アジア	1,067,326	3,180,206	480,600	953,891	3,352,796	910,515
東部アジア	287,085	1,117,157	247,729	244,882	949,184	392,638
南部・中央アジア	545,160	1,399,293	154,240	492,349	1,662,464	340,214
南東部アジア	152,608	466,348	59,392	135,504	488,186	128,564
西部アジア	82,473	197,407	19,239	81,155	252,963	49,098
ヨーロッパ	104,124	454,589	148,521	98,111	375,078	180,134
東部ヨーロッパ	39,111	177,743	50,295	33,415	131,682	58,442
北部ヨーロッパ	17,061	64,138	20,476	17,066	63,257	25,278
南部ヨーロッパ	19,786	95,078	34,002	19,365	74,257	45,093
西部ヨーロッパ	28,166	117,631	43,749	28,264	105,882	51,321
ラテンアメリカ・カリブ海	162,630	463,813	70,098	141,403	497,783	143,717
カリブ海	10,294	29,290	5,080	8,626	29,035	8,778
中央アメリカ	44,799	124,310	16,569	37,607	133,332	38,619
南アメリカ	107,537	310,213	48,450	95,171	335,416	96,321
北部アメリカ	71,090	246,933	70,009	74,951	270,437	92,563
オセアニア	8,599	26,155	6,054	8,554	29,825	9,194

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

表17 主要地域別、年齢（3区分）別人口割合：2004年推計（中位推計）

(%)

地域	1950年			2000年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界	34.30	60.51	5.19	30.04	63.04	6.92
先進地域 ¹⁾	27.35	64.77	7.88	18.30	67.37	14.33
発展途上地域 ²⁾	37.61	58.48	3.92	32.90	61.98	5.12
アフリカ	41.96	54.81	3.23	42.57	54.16	3.27
東部	43.42	53.65	2.93	45.29	51.80	2.91
中部	41.13	55.09	3.78	46.14	50.92	2.94
北部	41.25	55.30	3.46	35.62	60.12	4.26
南部	38.93	57.42	3.65	34.53	61.85	3.63
西部	42.14	54.83	3.03	45.12	51.90	2.98
アジア	36.49	59.40	4.11	30.25	63.87	5.88
東部	34.12	61.41	4.47	23.79	68.46	7.75
南部・中央	38.60	57.68	3.72	35.40	60.00	4.60
南東部	38.88	57.32	3.79	31.92	63.28	4.80
西部	38.73	56.87	4.40	35.67	60.00	4.34
ヨーロッパ	26.17	65.62	8.21	17.53	67.72	14.75
東部	28.12	65.37	6.52	18.23	68.89	12.88
北部	23.70	66.00	10.30	19.07	65.38	15.56
南部	27.65	64.73	7.62	15.67	67.85	16.48
西部	23.33	66.49	10.18	17.06	66.89	16.05
ラテンアメリカ・カリブ海	40.00	56.29	3.71	31.97	62.46	5.57
カリブ海	38.61	56.92	4.47	29.87	63.21	6.91
中央	42.31	53.61	4.07	35.22	60.15	4.62
南	39.45	57.08	3.47	30.92	63.28	5.80
北部	27.21	64.57	8.22	21.32	66.31	12.37
オセアニア	29.86	62.81	7.33	26.20	64.12	9.69

地域	2025年			2050年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界	24.15	65.32	10.53	20.19	63.67	16.14
先進地域 ¹⁾	15.68	63.47	20.84	15.65	58.41	25.95
発展途上地域 ²⁾	25.74	65.67	8.59	20.91	64.50	14.59
アフリカ	36.85	58.92	4.23	28.69	64.66	6.65
東部	39.50	57.09	3.41	30.42	64.35	5.23
中部	43.78	53.39	2.82	33.91	62.16	3.93
北部	27.03	65.94	7.04	20.61	65.48	13.91
南部	29.24	62.94	7.82	24.23	67.04	8.74
西部	38.03	58.47	3.50	28.70	65.66	5.64
アジア	22.57	67.26	10.16	18.28	64.26	17.45
東部	17.38	67.63	15.00	15.43	59.82	24.75
南部・中央	25.98	66.67	7.35	19.73	66.63	13.64
南東部	22.50	68.75	8.76	18.01	64.90	17.09
西部	27.57	66.00	6.43	21.18	66.01	12.81
ヨーロッパ	14.72	64.28	21.00	15.02	57.41	27.57
東部	14.64	66.53	18.83	14.95	58.91	26.14
北部	16.78	63.08	20.14	16.16	59.90	23.94
南部	13.29	63.87	22.84	13.96	53.53	32.51
西部	14.86	62.06	23.08	15.24	57.09	27.67
ラテンアメリカ・カリブ海	23.35	66.59	10.06	18.06	63.58	18.36
カリブ海	23.05	65.58	11.37	18.57	62.52	18.90
中央	24.13	66.95	8.92	17.95	63.63	18.43
南	23.07	66.54	10.39	18.06	63.66	18.28
北部	18.32	63.64	18.04	17.11	61.75	21.14
オセアニア	21.07	64.09	14.84	17.98	62.69	19.33

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

世界人口における年少（0～14歳）人口、生産年齢（15～64歳）人口、老年（65歳以上）人口の割合は、1950年には各々34%、61%、5%であったのが、2000年時点で各々30%、63%、7%であり、2050年には各々20%、64%、16%となる。すなわち人類全体として今日先進地域が直面している高齢社会に突入する。2000年の世界人口と2050年の世界人口を比べると人口総数は60.9億から90.8億へ29.9億増え、生産年齢人口は38.4億から57.8億へ19.4億増える。この間、年少人口は18.3億でほとんど変わらないが、老年人口は4.2億から14.6億へと3.5倍に増える。

先進地域においては、年少人口、生産年齢人口、老年人口の割合は2000年時点で各々18%、67%、14%であるが、2050年には各々16%、58%、26%となる。すなわち4人に1人が65歳以上の高齢者となるが、この割合はヨーロッパでは3割近くになる。

発展途上地域における上記年齢3区分の各々の割合は、2000年時点で33%、62%、5%であり、2050年でも各々21%、65%、15%と、なお老年人口は年少人口を下回る。とくに出生力が高く人口増加が続くアフリカでは2050年でも年少人口29%、生産年齢人口65%、老年人口7%という割合であり、人口高齢化の進展において、ようやく現在の世界の平均水準に達する。

人口の年齢構造は経済発展や社会保障制度の見地からも重要な意味を持つ。人口年齢構造の推移は表18に示した従属人口指数の変化として表される。年少（従属）人口指数とは年少人口の生産年齢人口に対する比であり、老年（従属）人口指数とは老年人口の生産年齢人口に対する比である。年少（従属）人口指数と老年（従属）人口指数を合わせたものを従属人口指数（総数）と呼ぶ。世界人口の従属人口指数（総数）は2000年の59%と2050年の57%を比べるとさほど変化がないが、その内訳をみると年少（従属）人口指数が48%から32%へ低下する一方で老年（従属）人口指数は11%から25%へ上昇し、今後半世紀において人口高齢化が進むことを示している。この間、先進地域の従属人口指数（総数）は高齢者の増加を反映して48%から71%へ高まり、老年（従属）人口指数は21%から44%へ倍増する。しかし発展途上地域では、この間出生力低下の効果が寿命伸長の効果を上回るため、従属人口指数（総数）は61%から55%へと低下する。

表18 主要地域別従属人口指数：2004年推計（中位推計）

（％）

地 域	1950年			2000年			2050年		
	総数	年少	老年	総数	年少	老年	総数	年少	老年
世 界	65.27	56.69	8.59	58.63	47.65	10.98	57.07	31.71	25.35
先 進 地 域 ¹⁾	54.39	42.23	12.16	48.43	27.16	21.27	71.21	26.79	44.42
発 展 途 上 地 域 ²⁾	71.01	64.31	6.70	61.33	53.08	8.26	55.05	32.42	22.63
ア フ リ カ	82.45	76.55	5.90	84.64	78.60	6.04	54.65	44.37	10.28
東 部 ア フ リ カ	86.41	80.95	5.46	93.07	87.44	5.62	55.41	47.28	8.13
中 部 ア フ リ カ	81.53	74.66	6.87	96.37	90.60	5.77	60.87	54.54	6.33
北 部 ア フ リ カ	80.85	74.59	6.26	66.34	59.25	7.09	52.71	31.48	21.23
南 部 ア フ リ カ	74.15	67.81	6.35	61.69	55.82	5.87	49.17	36.14	13.03
西 部 ア フ リ カ	82.38	76.86	5.52	92.69	86.95	5.74	52.30	43.71	8.59
ア ジ ア	68.35	61.42	6.92	56.58	47.36	9.21	55.61	28.45	27.16
東 部 ア ジ ア	62.83	55.55	7.27	46.06	34.75	11.32	67.17	25.80	41.37
南 部・中央アジ ア	73.36	66.91	6.45	66.68	59.00	7.67	50.08	29.62	20.46
南 東 部 ア ジ ア	74.45	67.83	6.61	58.02	50.44	7.59	54.09	27.76	26.34
西 部 ア ジ ア	75.83	68.10	7.73	66.68	59.45	7.23	51.49	32.08	19.41
ヨ ー ロ ッ パ	52.39	39.88	12.52	47.66	25.89	21.77	74.18	26.16	48.03
東 部 ヨ ー ロ ッ パ	52.98	43.02	9.97	45.16	26.47	18.69	69.76	25.38	44.38
北 部 ヨ ー ロ ッ パ	51.51	35.91	15.61	52.96	29.16	23.80	66.94	26.98	39.96
南 部 ヨ ー ロ ッ パ	54.48	42.71	11.77	47.38	23.09	24.29	86.80	26.08	60.73
西 部 ヨ ー ロ ッ パ	50.40	35.08	15.31	49.50	25.51	23.99	75.16	26.69	48.47
ラテンアメリカ・カリブ海	77.65	71.07	6.59	60.10	51.18	8.92	57.28	28.41	28.87
カ リ ブ 海	75.69	67.84	7.85	58.19	47.25	10.94	59.94	29.71	30.23
中 央 ア メ リ カ	86.52	78.92	7.60	66.24	58.55	7.69	57.17	28.21	28.96
南 ア メ リ カ	75.20	69.12	6.08	58.03	48.87	9.16	57.09	28.37	28.72
北 部 ア メ リ カ	54.86	42.14	12.72	50.80	32.14	18.65	61.94	27.71	34.23
オ セ ア ニ ア	59.21	47.55	11.67	55.96	40.86	15.11	59.51	28.68	30.83

年少（従属）人口指数＝0～14歳人口／15～64歳人口×100（％）

老年（従属）人口指数＝65歳以上人口／15～64歳人口×100（％）

従属人口指数（総数）＝年少（従属）人口指数＋老年（従属）人口指数

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(2) 国別の人口構造の推移

今回の国連推計（2004年版）の中位推計結果による主要国の年齢（3区分）別人口割合と従属人口指数を表19と表20に示した。また過去、現在、将来の3つの年次（1950年、2000年、2050年）における65歳以上人口割合の最も高い国（上位20か国）と従属人口指数の最も高い国（上位20か国）を表21と表22に示した。65歳以上人口割合の最も高い国は1950年にはフランス（11％）であったが、2000年にはイタリア（18％）、2050年には日本（36％）が首位に上る。2050年には韓国、ホンコン、シンガポールなど東アジアにも65歳以上の高齢者割合が3割を超える国が出現する。

表19 主要国の年齢（3区分）別人口割合：2004年推計（中位推計）

（%）

国	1950年			2000年			2050年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
エジプト	39.68	57.35	2.97	35.87	59.63	4.50	20.88	65.83	13.28
エチオピア	44.13	52.88	2.99	45.54	51.62	2.83	28.69	65.75	5.56
ナイジェリア	41.72	55.30	2.99	45.27	51.76	2.97	27.35	66.94	5.71
南アフリカ	38.58	57.83	3.58	33.52	62.84	3.64	23.63	67.08	9.29
カナダ	29.68	62.65	7.67	19.09	68.30	12.61	15.74	58.61	25.65
メキシコ	41.98	53.58	4.44	33.68	61.56	4.76	16.71	62.16	21.13
アメリカ合衆国	26.99	64.74	8.26	21.56	66.10	12.34	17.26	62.09	20.65
アルゼンチン	30.53	65.27	4.21	28.00	62.12	9.88	17.77	63.26	18.98
ブラジル	41.56	55.47	2.97	29.63	64.94	5.44	17.72	63.04	19.24
コロンビア	42.63	54.22	3.15	32.77	62.46	4.77	18.14	64.05	17.81
ペルー	41.57	54.98	3.46	34.52	60.73	4.75	18.78	65.09	16.13
バングラデシュ	37.62	58.76	3.62	37.52	59.09	3.39	21.10	67.27	11.62
中国	33.54	61.98	4.48	24.78	68.37	6.85	15.69	60.68	23.64
インド	38.92	57.73	3.35	34.12	60.98	4.90	18.32	66.83	14.85
インドネシア	39.17	56.87	3.96	30.16	64.94	4.89	17.65	64.90	17.45
イラン	39.09	55.57	5.34	35.21	60.34	4.45	17.84	64.03	18.13
日本	35.45	59.61	4.94	14.64	68.15	17.21	13.43	50.68	35.89
韓国	41.66	55.30	3.05	20.84	71.80	7.36	12.00	53.47	34.54
ミャンマー	37.79	58.97	3.24	32.49	62.78	4.72	17.13	64.99	17.89
パキスタン	37.94	56.72	5.35	41.28	55.03	3.69	22.43	67.36	10.21
フィリピン	43.59	52.82	3.59	37.52	58.95	3.53	18.97	66.79	14.23
シンガポール	40.47	57.14	2.40	21.78	71.07	7.15	12.62	56.06	31.31
スリランカ	40.17	54.32	5.51	26.17	67.21	6.63	16.40	60.70	22.91
タイ	42.13	54.62	3.25	25.62	68.42	5.96	16.77	61.84	21.39
トルコ	40.03	56.77	3.20	30.66	64.23	5.10	18.06	64.92	17.02
ベトナム	31.75	64.04	4.21	33.46	61.14	5.40	17.37	64.02	18.61
オーストリア	22.80	66.83	10.37	16.59	67.85	15.56	13.56	55.76	30.68
ベルギー	20.89	68.05	11.05	17.41	65.66	16.92	15.25	57.50	27.25
ブルガリア	26.78	66.49	6.73	15.71	67.93	16.36	12.86	56.91	30.23
チェコ共和国	24.05	67.68	8.27	16.42	69.77	13.81	13.20	54.85	31.95
スロバキア	28.93	64.40	6.67	19.52	69.07	11.41	12.66	56.86	30.48
デンマーク	26.32	64.55	9.13	18.48	66.70	14.82	16.67	60.58	22.75
フィンランド	29.98	63.36	6.66	18.14	66.94	14.92	15.36	58.05	26.58
フランス	22.71	65.91	11.38	18.64	65.05	16.31	15.74	57.14	27.11
ドイツ	23.19	67.10	9.72	15.61	68.02	16.37	14.89	56.70	28.41
ギリシャ	28.65	64.55	6.79	15.20	68.00	16.79	13.65	56.11	30.24
ハンガリー	25.10	67.56	7.34	16.95	68.38	14.67	13.71	57.25	29.05
イタリア	26.32	65.42	8.26	14.29	67.48	18.24	13.13	51.34	35.53
オランダ	29.31	62.95	7.74	18.47	67.92	13.62	15.60	58.98	25.42
ノルウェー	24.44	65.88	9.68	19.99	64.67	15.34	16.32	59.38	24.30
ポーランド	29.39	65.38	5.23	19.21	68.67	12.12	13.28	56.97	29.75
ポルトガル	29.47	63.55	6.98	16.21	67.64	16.15	14.38	55.38	30.24
ルーマニア	28.41	66.26	5.33	18.29	68.21	13.50	13.38	57.91	28.71
ロシア	28.91	64.91	6.19	18.22	69.44	12.34	16.59	60.37	23.04
スペイン	27.09	65.61	7.30	14.58	68.73	16.69	14.27	51.64	34.09
スウェーデン	23.44	66.31	10.25	18.43	64.30	17.27	16.11	59.15	24.74
スイス	23.54	66.85	9.61	17.53	67.49	14.98	15.49	56.80	27.71
イギリス	22.34	66.94	10.73	19.07	65.07	15.86	16.41	60.41	23.17
オーストラリア	26.51	65.36	8.13	21.20	66.65	12.15	16.18	60.05	23.77

表20 主要国の従属人口指数：2004年推計（中位推計）

（％）

国	1950年			2000年			2050年		
	総数	年少	老年	総数	年少	老年	総数	年少	老年
エジプト	74.36	69.19	5.17	67.70	60.16	7.54	51.90	31.72	20.18
エチオピア	89.11	83.46	5.65	93.71	88.22	5.49	52.09	43.63	8.46
ナイジェリア	80.85	75.44	5.41	93.21	87.47	5.74	49.38	40.86	8.52
南アフリカ	72.92	66.72	6.20	59.13	53.34	5.79	49.08	35.23	13.85
カナダ	59.62	47.37	12.25	46.41	27.95	18.46	70.61	26.85	43.76
メキシコ	86.64	78.35	8.29	62.43	54.71	7.72	60.87	26.88	33.99
アメリカ合衆国	54.45	41.69	12.77	51.29	32.61	18.68	61.06	27.80	33.25
アルゼンチン	53.22	46.77	6.44	60.99	45.08	15.91	58.09	28.09	30.00
ブラジル	80.29	74.93	5.36	54.00	45.62	8.38	58.64	28.12	30.52
コロンビア	84.44	78.63	5.80	60.11	52.47	7.64	56.12	28.32	27.80
ベネズエラ	81.89	75.60	6.28	64.66	56.83	7.83	53.63	28.85	24.78
バングラデシュ	70.20	64.03	6.17	69.25	63.51	5.74	48.65	31.37	17.28
中国	61.33	54.11	7.23	46.25	36.24	10.01	64.81	25.86	38.96
インド	73.21	67.41	5.80	64.00	55.96	8.04	49.64	27.42	22.22
インドネシア	75.84	68.88	6.96	53.98	46.44	7.54	54.08	27.19	26.89
イラン	79.94	70.34	9.61	65.73	58.35	7.38	56.17	27.85	28.32
日本	67.76	59.47	8.30	46.73	21.48	25.25	97.32	26.50	70.82
韓国	80.84	75.33	5.51	39.27	29.02	10.25	87.03	22.44	64.59
ミャンマー	69.58	64.08	5.50	59.28	51.76	7.52	53.88	26.35	27.53
パキスタン	76.31	66.89	9.42	81.72	75.01	6.70	48.45	33.29	15.16
フィリピン	89.33	82.53	6.80	69.63	63.65	5.98	49.72	28.41	21.31
シンガポール	75.02	70.82	4.19	40.71	30.65	10.07	78.37	22.52	55.86
スリランカ	84.09	73.95	10.14	48.80	38.94	9.86	64.75	27.01	37.74
タイ	83.08	77.14	5.94	46.15	37.44	8.71	61.71	27.12	34.59
トルコ	76.14	70.51	5.63	55.69	47.74	7.95	54.04	27.81	26.22
ベトナム	56.14	49.57	6.57	63.57	54.73	8.84	56.21	27.13	29.07
オーストラリア	49.62	34.11	15.51	47.39	24.45	22.94	79.34	24.31	55.03
ベルギー	46.95	30.70	16.24	52.29	26.52	25.77	73.90	26.52	47.38
ブルガリア	50.40	40.28	10.12	47.21	23.13	24.08	75.73	22.61	53.12
チェコ共和国	47.76	35.54	12.22	43.33	23.53	19.80	82.33	24.07	58.26
スロバキア	55.29	44.93	10.36	44.78	28.26	16.52	75.88	22.27	53.61
デンマーク	54.91	40.77	14.15	49.94	27.71	22.23	65.07	27.51	37.56
フィンランド	57.83	47.32	10.51	49.39	27.10	22.29	72.26	26.46	45.79
フランス	51.72	34.45	17.27	53.73	28.66	25.08	75.00	27.55	47.45
ドイツ	49.04	34.56	14.48	47.02	22.95	24.07	76.37	26.27	50.10
ギリシャ	54.91	44.39	10.52	47.06	22.36	24.70	78.21	24.33	53.88
ハンガリー	48.01	37.15	10.86	46.25	24.79	21.46	74.68	23.94	50.74
イタリア	52.85	40.23	12.62	48.20	21.17	27.02	94.78	25.57	69.21
オランダ	58.85	46.55	12.30	47.24	27.19	20.05	69.55	26.44	43.10
ノルウェー	51.79	37.10	14.69	54.63	30.91	23.72	68.41	27.48	40.92
ポーランド	52.94	44.94	8.00	45.63	27.98	17.65	75.53	23.30	52.22
ポルトガル	57.37	46.38	10.99	47.85	23.97	23.87	80.58	25.97	54.61
ルーマニア	50.92	42.88	8.04	46.61	26.82	19.79	72.68	23.11	49.57
ロシア	54.07	44.54	9.53	44.00	26.24	17.77	65.64	27.48	38.16
スペイン	52.41	41.29	11.12	45.51	21.22	24.29	93.65	27.63	66.02
スウェーデン	50.81	35.35	15.46	55.53	28.66	26.86	69.07	27.24	41.83
スイス	49.59	35.21	14.37	48.18	25.98	22.20	76.05	27.27	48.78
イギリス	49.39	33.37	16.02	53.68	29.30	24.38	65.53	27.17	38.36
オーストラリア	53.00	40.56	12.43	50.04	31.82	18.23	66.54	26.95	39.59

表21 65歳以上人口割合の高い国：2004年推計（中位推計）

（％）

順位	1950年		2000年		2050年	
	国名	割合	国名	割合	国名	割合
1	フランス	11.38	イタリア	18.24	日本	35.89
2	ラトビア	11.18	スウェーデン	17.27	イタリア	35.53
3	ベルギー	11.05	日本	17.21	韓国	34.54
4	イギリス	10.73	ベルギー	16.92	スロベニア	34.09
5	アイルランド	10.68	ギリシャ	16.79	スロベニア	32.80
6	エストニア	10.60	スベイン	16.69	ホンコン特別行政区	32.26
7	オーストリア	10.37	ドイツ	16.37	チェコ共和国	31.95
8	スウェーデン	10.25	ブルガリア	16.36	シンガポール	31.31
9	スウェーデン	10.10	フランス	16.31	チャド	30.74
10	ドイツ	9.72	ポルトガル	16.15	オーストリア	30.68
11	ノルウェー	9.68	イギリス	15.86	スロバキア	30.48
12	スイス	9.61	オーストリア	15.56	ポルトガル	30.24
13	リトニア	9.42	クロアチア	15.52	ギリシャ	30.24
14	デンマーク	9.13	ノルウェー	15.34	ブルガリア	30.23
15	ニュージーランド	8.96	ラトビア	15.18	ポーランド	29.75
16	ベネズエラ	8.84	エストニア	15.08	ウクライナ	29.13
17	ベラルーシ	8.61	スイス	14.98	ラトビア	29.07
18	マケドニア	8.52	フィンランド	14.92	ハンガリー	29.05
19	アルメニア	8.34	デンマーク	14.82	リトニア	28.76
20	チエクオ	8.27	ハンガリー	14.67	ルーマニア	28.71
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
58	日本	4.94	∴	∴	∴	∴

UN, *World Population Prospects: The 2004 Revision*（中位推計）に掲載されている192か国のうち2005年人口が100万人以上の国（153か国）についての順位。

表22 従属人口指数（総数）の高い国：2004年推計（中位推計）

（％）

順位	1950年		2000年		2050年	
	国名	指数	国名	指数	国名	指数
1	パレスチナ占領地区	102.22	ウガンダ	112.40	日本	97.32
2	ヨルダン	102.22	ブルキナファソ	105.57	イタリア	94.78
3	マラウイ	95.17	マリ	104.91	スロベニア	93.65
4	ボツワナ	95.13	ニジェール	103.99	韓国	87.03
5	ルワンダ	94.68	ブルンジ	103.48	スロベニア	83.37
6	エリトリア	94.16	イエメン	102.57	チェコ共和国	82.33
7	タンザニア	92.90	チャド	100.33	ホンコン特別行政区	80.84
8	モーリシャス	92.76	パレスチナ占領地区	100.10	ポルトガル	80.58
9	ドミニカ共和国	91.36	ギニア・ビサウ	99.74	チャド	79.55
10	ザンビア	90.94	コンゴ民主共和国	99.07	オーストリア	79.34
11	ガーナ	90.76	コンゴ	98.45	シンガポール	78.37
12	ホンジュラス	90.42	ルワンダ	98.15	ギリシャ	78.21
13	コンゴ民主共和国	90.36	アフガニスタン	98.11	ドイツ	76.37
14	ウガンダ	90.06	アングラ	97.93	スイス	76.05
15	マリ	89.68	ザンビア	97.36	スロバキア	75.88
16	モロッコ	89.59	マラウイ	96.80	ブルガリア	75.73
17	フィリピン	89.33	リベリア	96.60	ポーランド	75.53
18	スーダ	89.12	エチオピア	93.71	クロアチア	75.30
19	エチオピア	89.11	ベネズエラ	93.34	フランス	75.00
20	グアテマラ	89.11	ナイジェリア	93.21	ラトビア	75.00
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
102	日本	67.76	∴	∴	∴	∴
132	∴	∴	日本	46.73	∴	∴

UN, *World Population Prospects: The 2004 Revision*（中位推計）に掲載されている192か国のうち2005年人口が100万人以上の国（153か国）についての順位。従属人口指数（総数）とは、年少（従属）人口指数と老年（従属）人口指数の和である。

図7には主要国の65歳以上人口割合の経年的変化を示したが、とりわけ日本、イタリア、スペイン、ドイツなど少子化が著しく進んでいる国の人口高齢化が目につく。同時に、中国、インドなど発展途上地域の人口大国の高齢化も着実に進むことが注目される。

図8には世界、先進地域、発展途上地域、および主要12か国の過去、現在、将来の3つの年次（1950年、2000年、2050年）における人口ピラミッドを示した。

図7 主要国の65歳以上人口割合：2004年推計（中位推計）

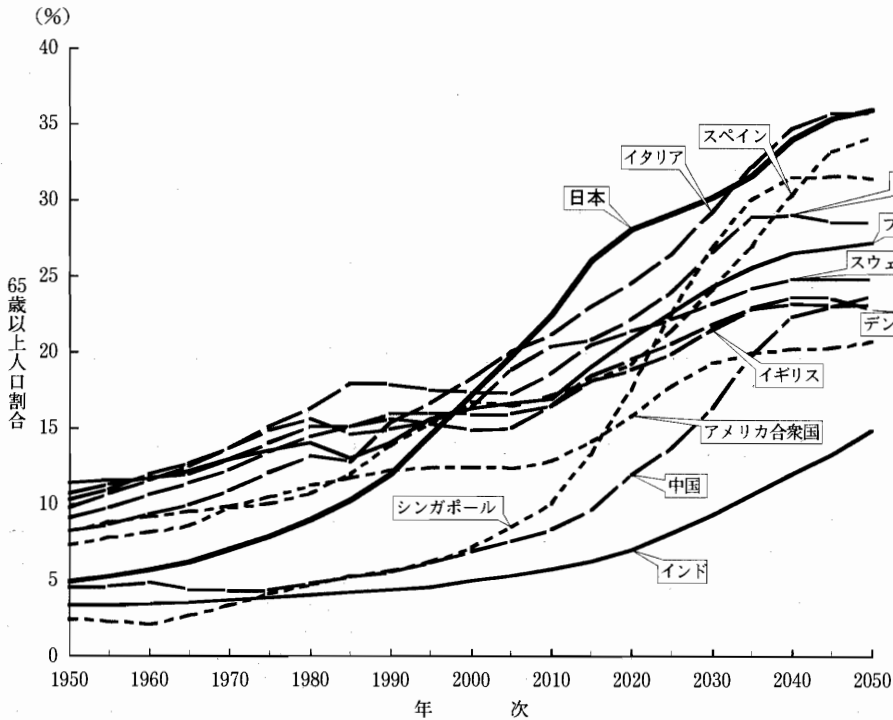


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）

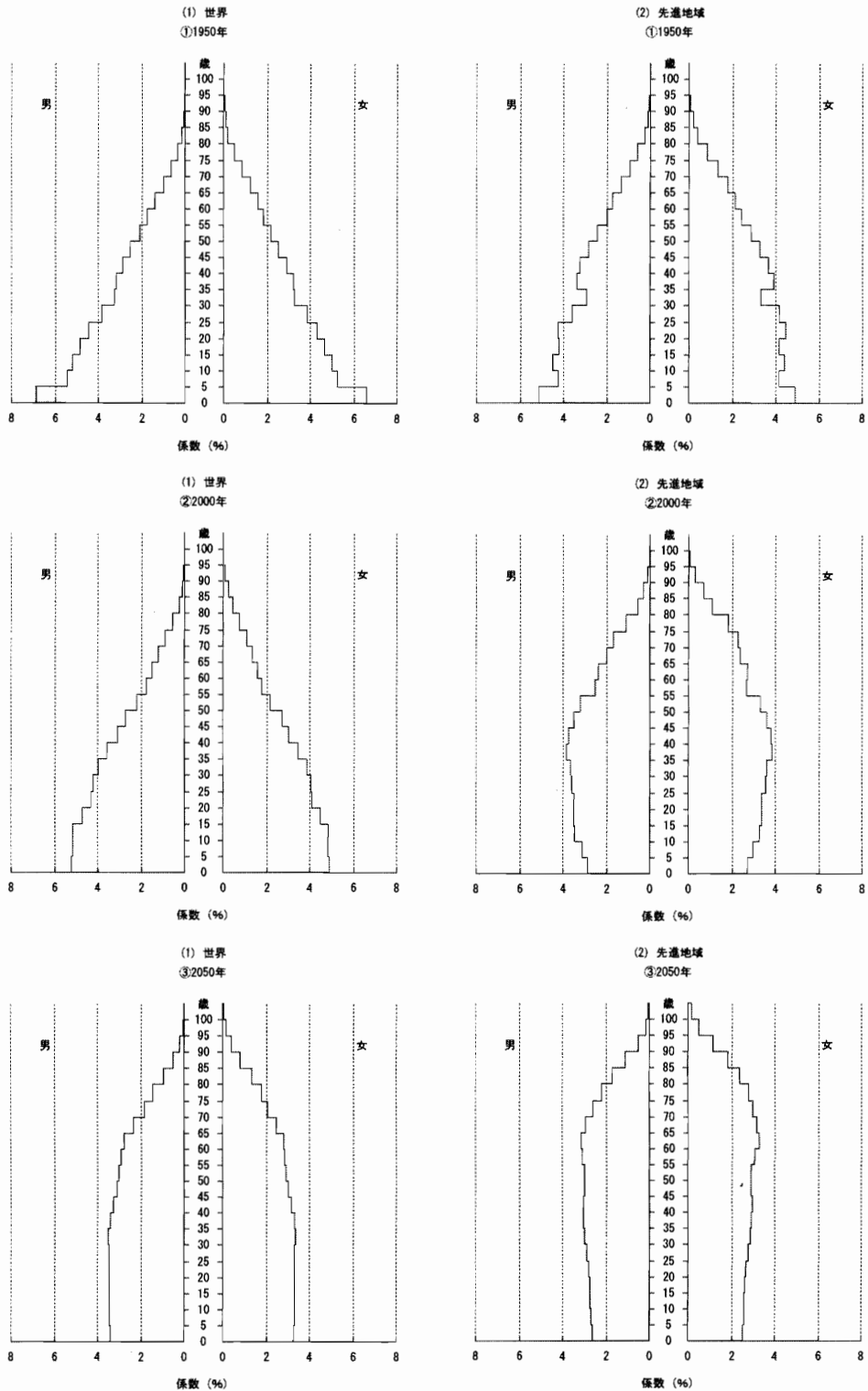


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

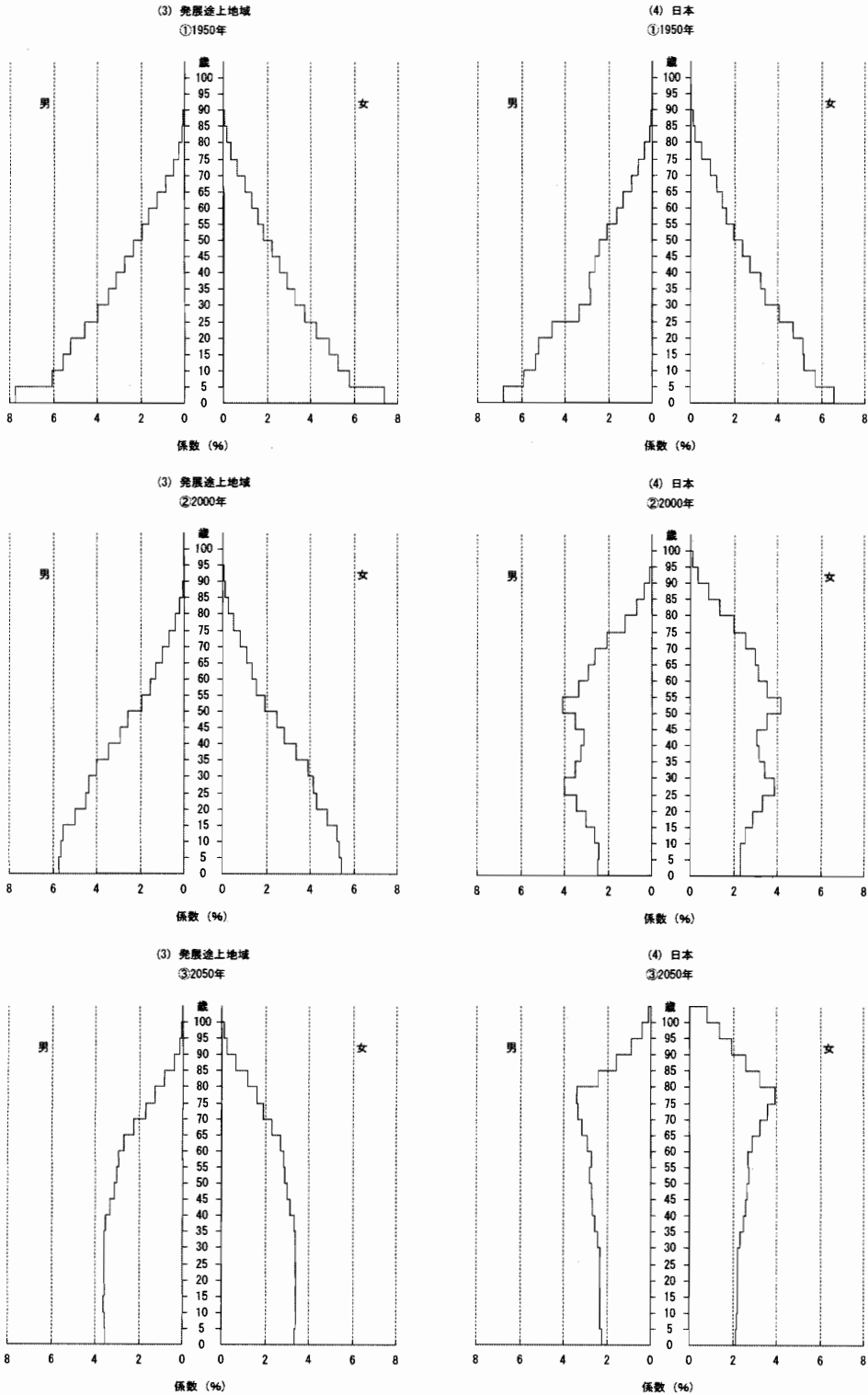


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

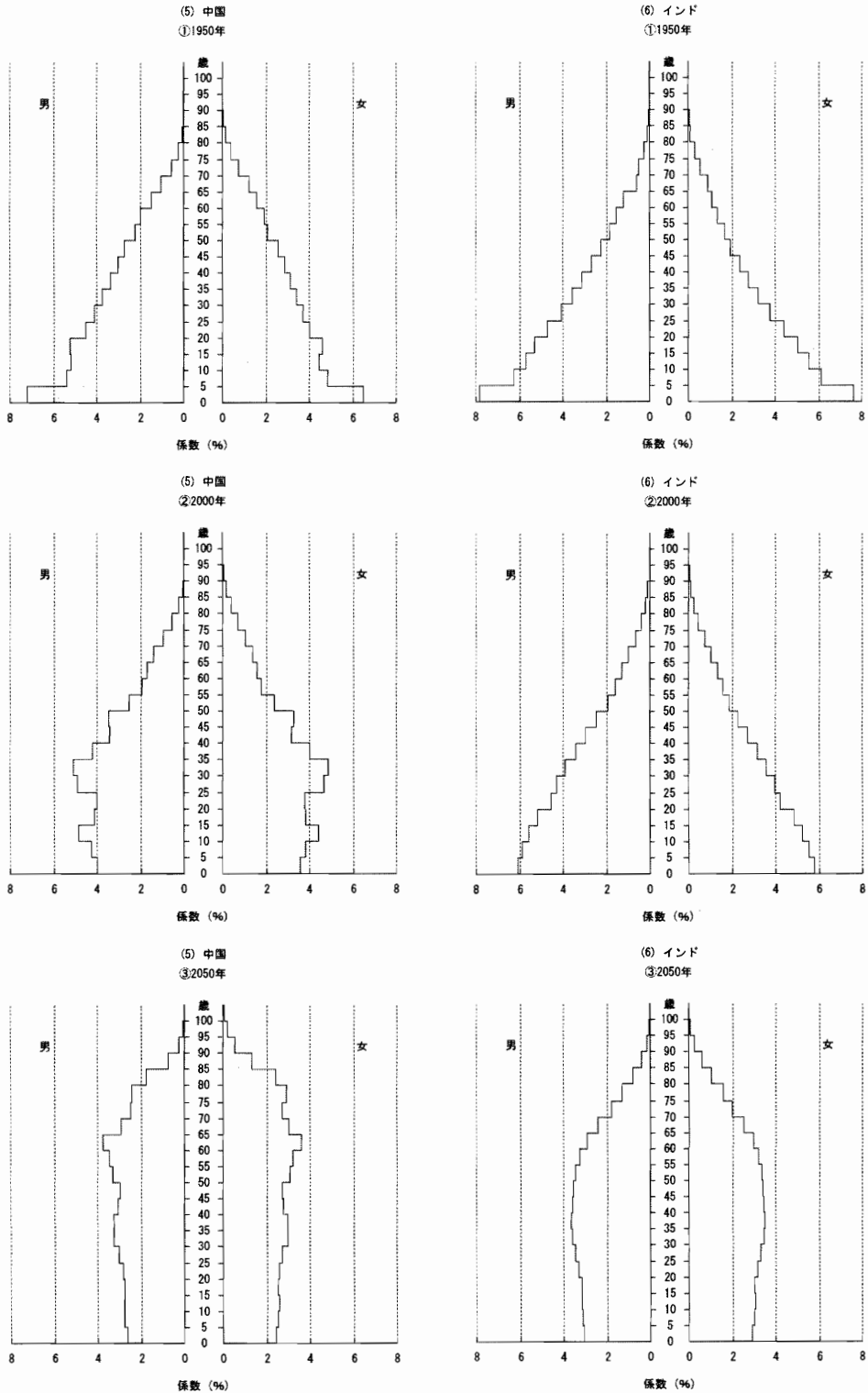


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

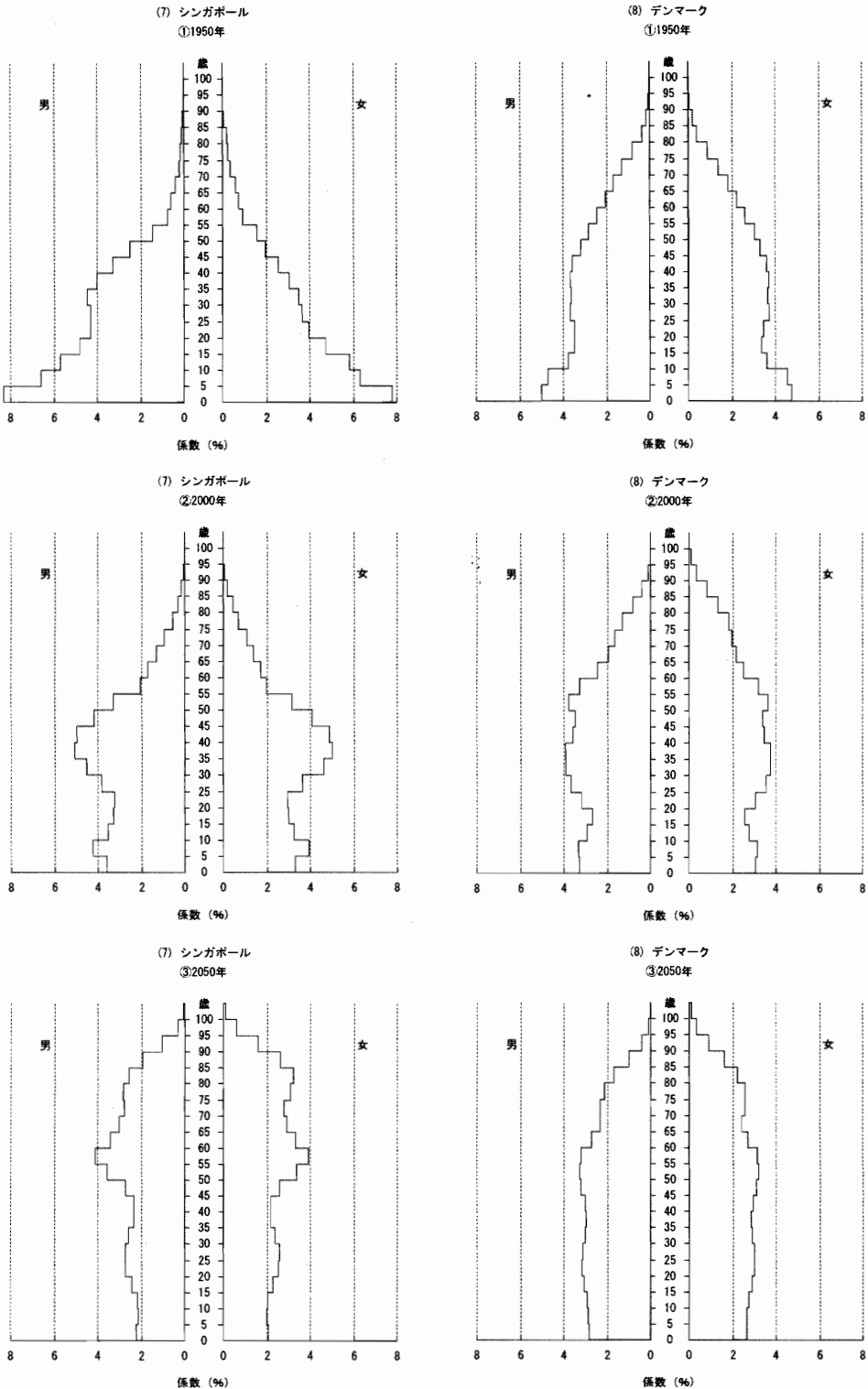


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

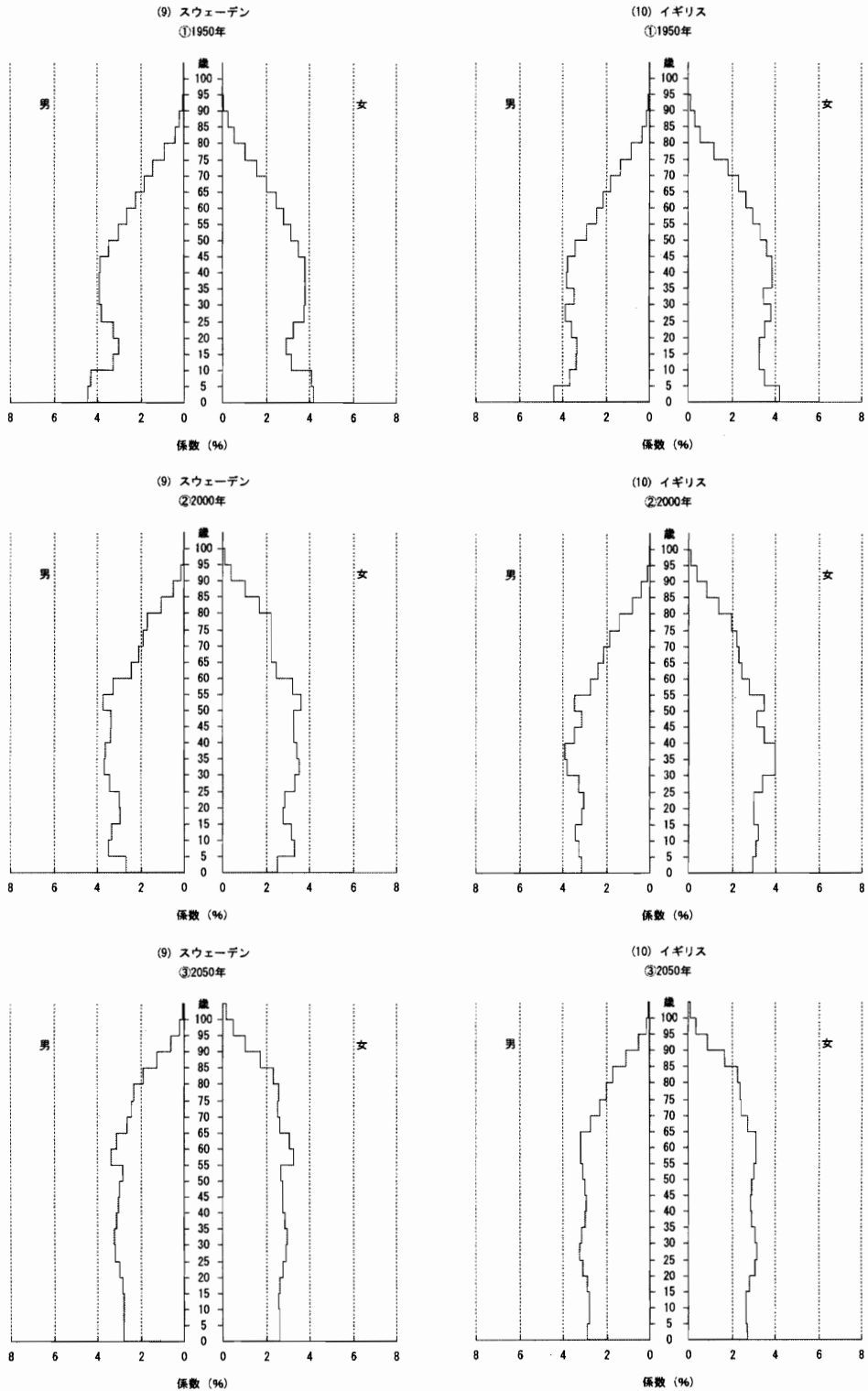


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

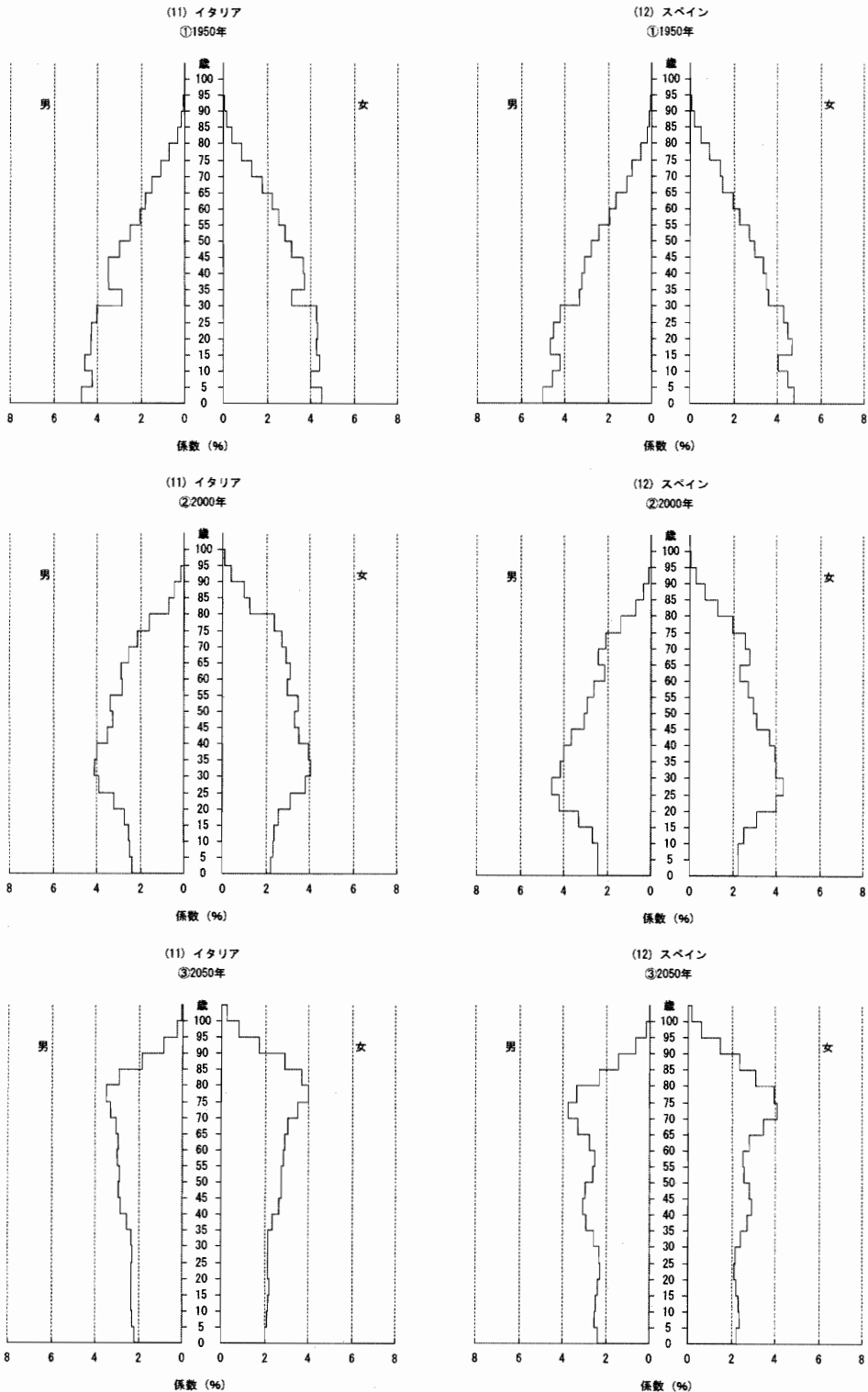


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

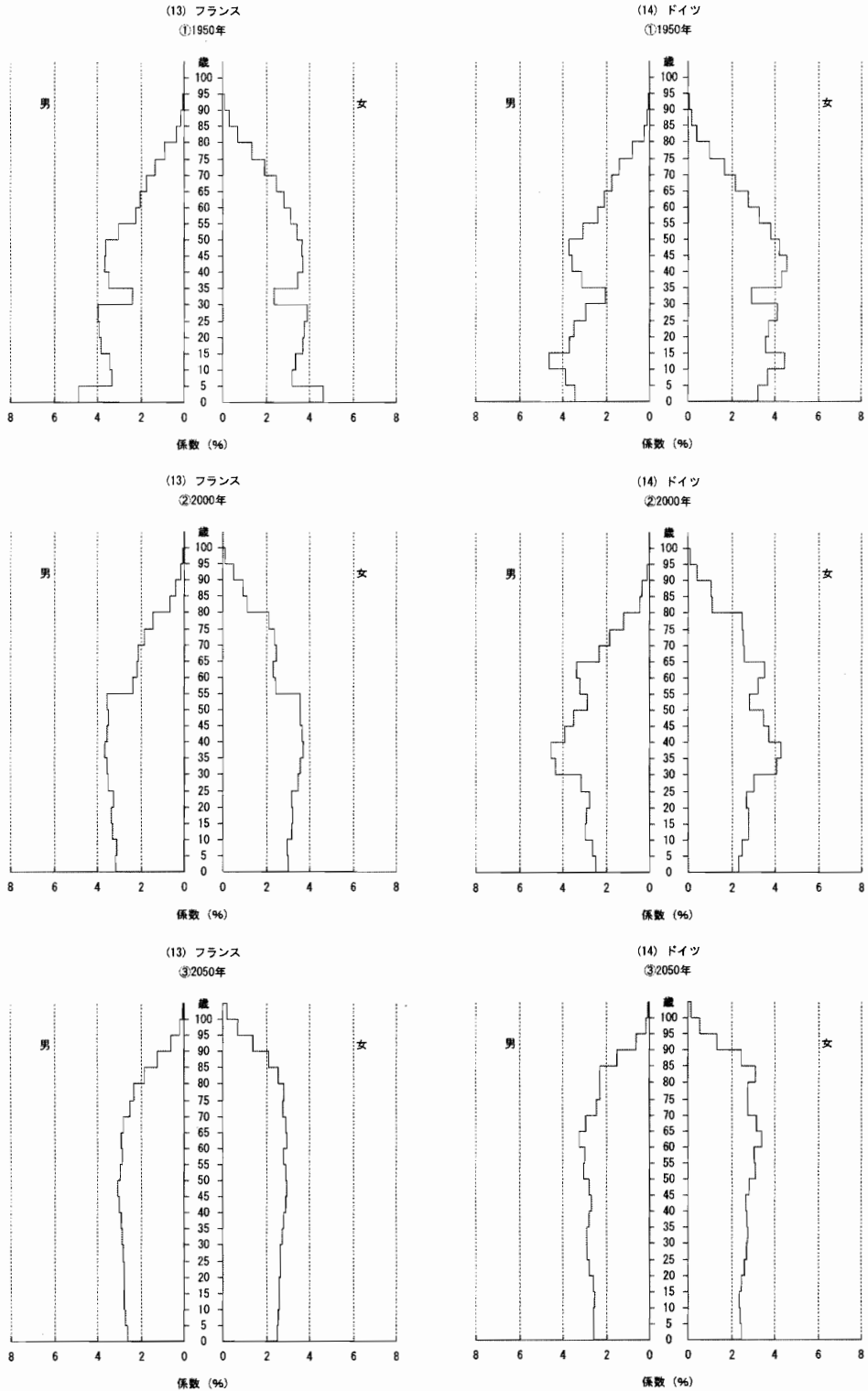


図8 世界および主要国の人口ピラミッド：2004年推計（中位推計）(つづき)

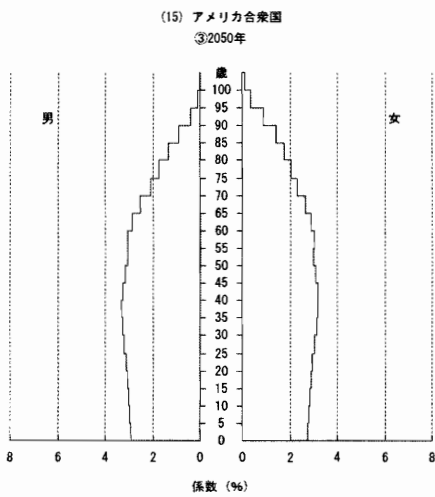
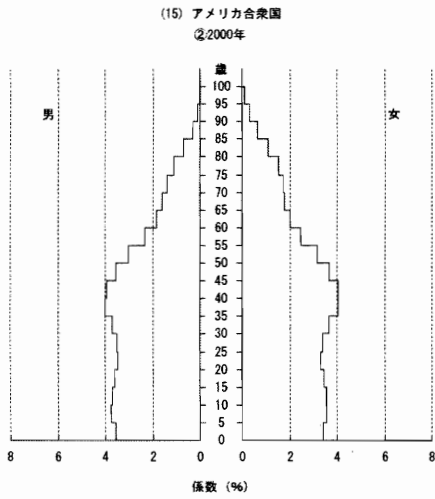
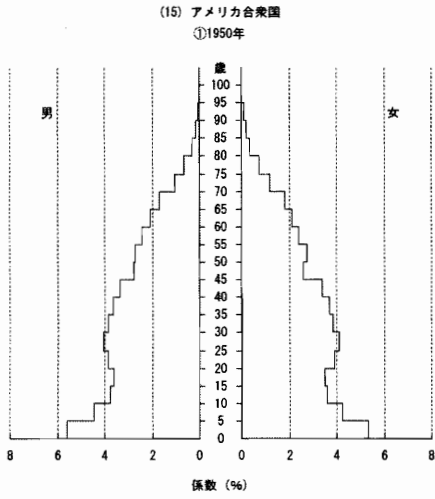


表23 日本人口についての国連推計と社人研推計の比較

(人口：1,000人)

年次	国連推計					社人研推計 ^{*)} (中位)				
	中位			高位 人口総数	低位 人口総数	人口総数	人口割合 (%)			
	人口総数	人口割合 (%)					0～14歳	15～64歳	65歳以上	
		0～14歳	15～64歳	65歳以上				0～14歳	15～64歳	65歳以上
2000	127,034	14.6	68.2	17.2			126,926	14.6	68.1	17.4
2001	127,290	14.5	67.8	17.7			127,183	14.4	67.6	18.0
2002	127,525	14.3	67.5	18.2			127,377	14.2	67.3	18.5
2003	127,736	14.2	67.1	18.7			127,524	14.1	66.9	19.0
2004	127,923	14.1	66.7	19.2			127,635	14.0	66.7	19.4
2005	128,085	14.0	66.3	19.7			127,708	13.9	66.2	19.9
2006	128,219	13.9	65.8	20.2	128,341	128,096	127,741	13.8	65.7	20.5
2007	128,325	13.9	65.4	20.7	128,621	128,026	127,733	13.7	65.2	21.1
2008	128,402	13.8	64.9	21.3	128,913	127,884	127,686	13.6	64.7	21.7
2009	128,446	13.8	64.4	21.8	129,198	127,684	127,599	13.5	64.3	22.2
2010	128,457	13.7	63.8	22.4	129,462	127,436	127,473	13.4	64.1	22.5
2011	128,433	13.7	63.2	23.1	129,701	127,143	127,309	13.3	64.0	22.8
2012	128,375	13.6	62.5	23.9	129,916	126,804	127,107	13.2	63.3	23.6
2013	128,282	13.5	61.9	24.6	130,108	126,420	126,865	13.1	62.5	24.4
2014	128,154	13.4	61.2	25.3	130,275	125,989	126,585	12.9	61.8	25.3
2015	127,993	13.3	60.7	26.0	130,419	125,514	126,266	12.8	61.2	26.0
2016	127,798	13.2	60.2	26.5	130,538	124,995	125,909	12.7	60.8	26.5
2017	127,570	13.1	59.9	27.0	130,632	124,437	125,513	12.6	60.5	27.0
2018	127,312	13.1	59.5	27.4	130,697	123,846	125,080	12.4	60.3	27.3
2019	127,025	13.0	59.3	27.8	130,731	123,230	124,611	12.3	60.1	27.6
2020	126,713	12.9	59.1	28.1	130,734	122,593	124,107	12.2	60.0	27.8
2021	126,375	12.8	58.9	28.3	130,705	121,939	123,570	12.0	59.9	28.1
2022	126,015	12.7	58.8	28.5	130,646	121,270	123,002	11.9	59.9	28.2
2023	125,633	12.6	58.7	28.7	130,562	120,585	122,406	11.8	59.8	28.3
2024	125,234	12.5	58.6	28.9	130,459	119,886	121,784	11.7	59.8	28.5
2025	124,819	12.5	58.5	29.1	130,340	119,172	121,136	11.6	59.7	28.7
2026	124,390	12.4	58.3	29.3	130,210	118,444	120,466	11.5	59.7	28.8
2027	123,949	12.4	58.2	29.5	130,070	117,704	119,773	11.5	59.6	28.9
2028	123,497	12.3	58.0	29.7	129,923	116,953	119,061	11.4	59.5	29.1
2029	123,035	12.3	57.8	29.9	129,775	116,192	118,329	11.3	59.4	29.3
2030	122,566	12.3	57.5	30.1	129,628	115,420	117,580	11.3	59.2	29.6
2031	122,091	12.3	57.3	30.4	129,485	114,639	116,813	11.2	59.2	29.6
2032	121,610	12.4	57.0	30.6	129,348	113,849	116,032	11.2	58.9	29.9
2033	121,124	12.4	56.7	30.9	129,221	113,049	115,235	11.1	58.7	30.2
2034	120,634	12.5	56.3	31.2	129,107	112,238	114,425	11.1	58.4	30.6
2035	120,140	12.5	55.9	31.6	129,009	111,414	113,602	11.1	58.0	30.9
2036	119,643	12.6	55.4	32.1	128,930	110,579	112,768	11.0	57.6	31.4
2037	119,143	12.7	54.8	32.5	128,868	109,731	111,923	11.0	57.1	31.8
2038	118,640	12.7	54.2	33.0	128,823	108,870	111,068	11.0	56.7	32.3
2039	118,133	12.8	53.6	33.5	128,794	107,994	110,207	11.0	56.2	32.8
2040	117,621	12.9	53.1	34.0	128,780	107,101	109,338	11.0	55.8	33.2
2041	117,103	13.0	52.7	34.3	128,777	106,192	108,465	11.0	55.4	33.6
2042	116,581	13.1	52.3	34.6	128,787	105,267	107,589	11.0	55.1	33.9
2043	116,053	13.1	52.0	34.9	128,807	104,327	106,712	11.0	54.9	34.2
2044	115,520	13.2	51.7	35.1	128,835	103,373	105,835	10.9	54.6	34.4
2045	114,983	13.3	51.4	35.3	128,870	102,406	104,960	10.9	54.4	34.7
2046	114,440	13.3	51.2	35.5	128,908	101,428	104,087	10.9	54.2	34.9
2047	113,891	13.4	51.0	35.7	128,946	100,438	103,213	10.9	54.1	35.1
2048	113,335	13.4	50.8	35.8	128,980	99,439	102,339	10.8	53.9	35.3
2049	112,771	13.4	50.7	35.9	129,004	98,429	101,466	10.8	53.7	35.5
2050	112,198	13.4	50.7	35.9	129,013	97,410	100,593	10.8	53.6	35.7

*) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』(2002年1月推計)

6. 日本の将来人口（国立社会保障・人口問題研究所2002年推計）との比較

今回の国連の世界人口推計（2004年版）はすでに述べたように1950年から2050年までの国別人口を推計したものである。そこで、その日本についての推計結果を国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が推計した日本の将来人口と比較してみよう。社人研の日本の将来人口に関する最新の推計は2002年1月に公表したもので、最新の国勢調査（2000年10月1日人口）に基づいている。

両推計による日本の人口を比較すると、表23に示したように、社人研推計（中位）では2006年の1億2800万を最大値として減少へ転じるのに対し、国連推計（中位）では2010年の1億2800万を最大値として減少へ転じる。その後も常に国連推計（中位）の方が社人研推計（中位）を上回り、2050年の人口は社人研推計（中位）による1億100万より国連推計（中位）の1億200万が約100万多い結果となっている。

このような相違は出生率と死亡率の仮定の相違によって生じる。表24に示したように、社人研推計（中位）では日本の合計特殊出生率は2045～50年に1.39にとどまると仮定しているのに対し、国連推計（中位）では合計特殊出生率は次第に上昇し2045～50年には1.85に達すると仮定されている。一方死亡率については、両推計とも平均寿命が今後も伸び続けるとみているが、国連推計の方がより急速な寿命伸長を仮定している。すなわち2045～50年の平均寿命は、社人研推計（中位）では男性81年、女性89年であるが、国連推計（中位）では男性84年、女性92年とされている。

表24 日本の将来の人口動態率についての国連推計と社人研推計の比較

年次	国連2004年推計（中位）					社人研推計*）（中位）				
	合計特殊出生率	平均寿命（年）		出生率（‰）	死亡率（‰）	合計特殊出生率	平均寿命（年）		出生率（‰）	死亡率（‰）
		男	女				男	女		
2000～05	1.33	78.32	85.29	9.2	8.0	1.36	77.87	84.89	9.3	8.1
2005～10	1.37	79.11	86.39	8.9	8.8	1.31	78.32	85.49	8.6	9.1
2010～15	1.44	79.86	87.42	8.5	9.6	1.32	78.80	86.15	8.1	10.2
2015～20	1.51	80.58	88.37	8.1	10.5	1.35	79.21	86.73	7.6	11.4
2020～25	1.58	81.26	89.24	7.9	11.4	1.38	79.57	87.24	7.3	12.5
2025～30	1.65	81.90	90.04	8.1	12.1	1.38	79.88	87.69	7.1	13.6
2030～35	1.72	82.51	90.77	8.3	12.8	1.38	80.16	88.09	7.1	14.5
2035～40	1.79	83.08	91.42	8.6	13.3	1.39	80.41	88.44	7.0	15.3
2040～45	1.84	83.62	91.99	8.7	13.7	1.39	80.63	88.76	6.9	15.8
2045～50	1.85	84.12	92.49	8.6	14.0	1.39	80.83	89.05	6.8	16.0

*）国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』（2002年1月推計）による各期間（各年）の平均値。

Ⅲ. まとめ

国連によるこの最新の世界人口推計の結果はどのように読めるだろうか。今回に限らず最近の国連推計によって描かれる世界人口の長期的な動向を要約すれば、まずは大きな流れとして多産多死から少産少死への人口転換が世界全体として完了へ向かうことである。すなわち中位推計は人口転換の完了時期を今世紀半ばに置いており、人口転換のうち多産から少産への出生力転換についてみれば、1950～55年に6を超えていた発展途上地域の合計特殊出生率は2045～50年には2.07にまで低下する。その一方で現在約1.5まで下がっている先進地域の合計特殊出生率は1.84まで回復するとしており、出生力が人口置換水準近傍へ収斂するという見方に立っている。また人口転換のうち多死から少死への死亡力転換についてみれば、1950～55年にはわずか40年ほどであった発展途上地域の平均寿命は2045～50年までに男性は70年、女性は75年を超え、現在の先進地域並みの水準に到達する。

人口転換とは高出生率と高死亡率による均衡状態から、低出生率と低死亡率による均衡状態への一大転換であり、その必然的結果として人口増加と人口高齢化という2つの人口問題が起こる。1950年に25億であった地球人口は現在65億を数えており、中位推計によれば2050年までにさらに26億増えて91億に達する見込みである。人口転換が完了、言い換えれば出生力が置換水準に落ち着けば人口増加のポテンシャルは解消するわけだが、人口モメンタム（人口の慣性）が働くため、なお当分の間世界の人口は増加を続けることになる。経済発展に伴う発展途上国の人々の消費の飛躍的な拡大や地球の資源・環境条件の制約を考え合わせれば、「人口爆発」の危機が去ったと言うのは早計であろう。とりわけ発展途上地域の中でもことに開発水準が低い後発発展途上諸国（いわゆる最貧国）の人口が2005年現在の8億から2050年の17億へと倍増することは注意を要する⁷⁾。

このように世界人口は減速しながらも21世紀前半においてなお増加を続けるわけだが、人口総数の変化にもまして劇的なのは地球上の人口分布と年齢構成の変貌である。中位推計によれば、現在19%対81%という先進地域と発展途上地域の人口比は2050年には14%対86%に変わる。この間ヨーロッパの世界人口に占める割合は11%から7%に減ずるが、アフリカの世界人口に占める割合は14%から21%に増大する。今回の推計では将来の国際人口移動はほぼ現状の水準で一定と仮定されているが、国際人口移動の将来の動向についての予測は大変難しいといえよう。

人口高齢化は20世紀末にはもっぱら先進諸国の問題であったが、21世紀には現在の発展途上地域も含め全世界が直面する問題となる。本報告では図表に含めていないが、中位推計によれば1950年に23.9歳であった世界人口の中位数年齢（その年齢より若い人と年長の

7) 本報告では図表に含めることを省略したが、国連の世界人口推計はこの後発発展途上諸国 (least developed countries) についても人口など推計結果を別掲している。後発発展途上諸国は現在50か国あり、サハラ以南アフリカ、南アジアなどの国が多い。今回の中位推計によれば、2045～50年においても合計特殊出生率は2.57と高く、男女合計の平均寿命は66年で他の発展途上地域（76年）に比べても格段短い。

人の数が等しい年齢)は2005年現在28.1歳であるが、2050年には37.8歳になる。また2005年現在38.6歳(日本は42.9歳)である先進地域の中位数年齢は2050年には45.5歳(日本は52.3歳)になる。また全世界で65歳以上の高齢者は1950年には1億3100万人(世界人口の5.2%)いたが、2005年現在4億7600万人(同7.4%)おり、2050年には14億6500万人(同16.1%)に増える。さらに1950年には1400万人(世界人口の0.5%)に過ぎなかった80歳以上の高齢者(oldest-old)は、2005年現在8700万人(同1.3%)に増えており、2050年には3億9400万人(同4.3%)に急増する。2050年になると、65歳以上人口の78%、80歳以上人口の71%は現在の発展途上地域の住民によって占められる。人口高齢化は、経済、保健・医療・福祉、社会保障など多くの面で重大な問題を引き起こすが、その進行度は国による差が非常に大きく、技術・資金や経験の交流など国際協力が求められる分野の一つとなることだろう。

ここまで述べたように、世界人口の長期的な動きは多産多死の均衡から少産少死の均衡への人口転換の進行として大筋理解できるが、人口転換後、いわば「ポスト人口転換」期の人口の姿については人口学者もまだその将来像を十分描き切れていない。その一つの問題が、先進諸国を中心に現在は東アジアにも及んでいる少子化(人口置換水準を下回る低出生力)のゆくえである。今回の国連推計(中位推計)では日本など超少子化におちいつている先進国の合計特殊出生率が次第に回復し2045~50年には1.84に達するとしており、その期間の合計特殊出生率を1.39と仮定している社人研推計(中位)と異なっている。また平均寿命の伸長についても、はたして人類の寿命がどこまで伸びるのかという点について研究者の間で一致した見解は得られていない。さらにエイズ流行の長期的動向、東部ヨーロッパ(旧ソ連圏)における寿命の短縮と超低出生率などその影響が測りがたい問題も残っている。

世界人口推計はなお多くの課題を抱えているが、世界のすべての国を対象に100年間にわたる男女別・年齢別の人口推計が2年ごとに改訂されていることは非常に意義深いことであり、人口統計のみならず政策面でも各方面で不可欠の基礎資料をなしている。1994年にカイロで開かれた国際人口開発会議(ICPD)から10年経過した現在、国際社会では世界の貧困削減などを掲げた国連ミレニアム開発目標(MDGs)を2015年までに達成するための活動に努力が傾けられている。最新の国連世界人口推計2004年版は、政治、経済、社会、保健、福祉、ジェンダー、環境など様々な視点から21世紀の世界の諸問題に取り組むための海図として大いに活用されることであろう⁸⁾。

8) 国連の世界人口推計に関連した世界の人口問題などについての議論は下記を参照されたい。

阿藤(2000, 2002), 河野(2000, 2002a, 2002b), 河野・大淵(2002), 佐藤(2002), 第二次人口と開発分野別援助研究会(2003), 国連人口基金(2004)

文献

- 阿藤誠 (2000)『現代人口学：少子高齢社会の基礎知識』日本評論社。
- 阿藤誠 (2002)「人口爆発は過去の話か？」『世界と人口』第342号, pp.54-55.
- 国連人口基金 (2004)『世界人口白書2004』(財) 家族計画国際協力財団
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2002)『日本の将来推計人口－平成13 (2001) 年～62年 (2050) 年－ 附：参考推計 平成63 (2051) ～112 (2100) 年 平成14年1月推計』(研究資料第303号)
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2005)『「人口統計資料集 2005」における国連世界人口推計2004年版の扱いについて』
- 河野禰果 (2000)『世界の人口』(第2版) 東京大学出版会。
- 河野禰果 (2002a)「世界人口の現状」日本人口学会 (編)『人口大事典』培風館, pp.35-41.
- 河野禰果 (2002b)「国連の世界将来人口推計」『統計』2002年4月号, pp.2-10.
- 河野禰果・大淵寛編 (2002)『人口と文明のゆくえ』原書房。
- 佐藤龍三郎 (2002)「地球人口100億の世紀：問題提起」『人口問題研究』第58巻1号, pp.3-11.
- 第二次人口と開発分野別援助研究会 (2003)『第二次人口と開発援助研究：日本の経験を活かした人口援助の新たな展開』国際協力事業団国際協力総合研修所。
- United Nations (2001a) *World Population Prospects: The 2000 Revision: Volume 1: Comprehensive Tables.*
- United Nations (2001b) *World Population Prospects: The 2000 Revision: Volume 3: Analytical Report.*
- United Nations (2003) *World Population Prospects: The 2002 Revision: Volume 1: Comprehensive Tables.*
- United Nations (2004) *World Population Prospects: The 2002 Revision: Volume 3: Analytical Report.*
- United Nations(forthcoming), *World Population Prospects: The 2004 Revision: Volume 1: Comprehensive Tables.*
- United Nations(forthcoming), *World Population Prospects: The 2004 Revision: Volume 2: Sex and Age Distribution of the World Population.*
- United Nations(forthcoming), *World Population Prospects: The 2004 Revision: Volume 3: Analytical Report.*